
子供と言の葉ごっこ

鈴鹿美雪

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

子供と言の葉ごっこ

【Nコード】

N3435L

【作者名】

鈴鹿美雪

【あらすじ】

某英語圏の国に在住の主婦が、日々つれづれに子供たちや周囲のひとびととかわしていく言葉の中で、印象に残った日英両言語の言葉の葉を、淡々ほんわか掌エッセイにして綴っていきます。

言語・子供・家族・日常というテーマから外れたネタは、どうも重くながちなのでもうひとつのエッセイ「ぶあつい文化の壁にはさまって」に分離させました。

甘い言葉

風邪で咽喉が痛いので、ちょっと値段が張りますが、咳止め効果の高いタイムという香草の花からとった蜂蜜ハチミツを「ママ専用だよ」と買ってきました。

帰ってすぐに寝込んでいましたが、咳が出てきたのでさっそく蜂蜜を舐めようと台所へ。

夕食を作ってくれている夫の横で、邪魔にならないように戸棚を覗いてみましたが、タイムの蜂蜜が見当たりません。

次女（十歳）が買い物を片付けてくれたのを思い出して、居間でテレビを見ていた次女に訊いてみました。

私：”Where is my honey?”

横から返事が返ってきました。

夫：”I'm here.”（ボクはここだよ）

私：……無言……

いい年をしてこういう応酬ができるあたりが、西洋人だなと思いました。

とっさに何も気の利いたことが言い返せなかった私は、どうしようもなく日本人だと思いました。

甘い言葉（後書き）

蛇足の説明

ハニー：蜂蜜、かわいい人

マイ・ハニー：私のいい人 夫婦間での呼びかけ。

ちなみに70歳を越えた義両親は「マイ・ラブ」と呼び合っていた。
我が家では名前で呼び合うのが普通。

あまり英語風に「マイ・ラブ」「ハニー」「スウィートハート」と
か呼び合わない。

恥ずかしいから。

過去への旅

月曜の朝になって、宿題のレポートがないと十二歳の娘が騒ぐ。泣き出す。

内容を聞いてみると、日曜に掃除していたときに捨てた、床に落ちていたメモ書きみたいなものだとということが判明。

娘に謝り、担任の先生に手紙「落書きだと思って母の私が捨てました」を書いて渡した。

学校から帰ってきた娘に、先生に赦してもらったかどうか訊ねた。「『字が汚かったから』『来年からハイスクールなのに、それでは済まされない』と説教された」と、ふくれつつらで応える。

「だから床に落としておかないで、ノートに挟んでおかないと。ハイスクールでも落ちてたら捨てる」

娘はまだふくれている。

「なんのレポートだったの」

「日本とオーストラリアが、マンモスを再生するとかいう新聞記事」

「BBCのプレヒストリック・パークみたいねえ」

「ジユラシックパークの？」

「ジユラシックパークはアメリカのハリウッドの映画。プレヒストリックパークは英国BBCの番組。ウオーキングウイズダイナソー（恐竜と歩く）の続編みたいなものかな。スターゲイトみたいに、過去への門をくぐって、古代生物を集めて帰ってくるやつ」

その番組を思い出した娘は、突然早口になってその門の名前を英語で言ったけど、聞き取れなかった。このごろ、子供たちが英語で話していることがよくわからない。訊きなおしたけど、彼女はいきなりタイムマシン談義を始めた。早口でよくわからない。

「……でも、そのうちきつと科学技術が進んで、過去へいけるようになるよ」

あ、いつも私が科学技術で克服できない不可能なんかはないと言っていたのを真に受けているのかな。

「まあ、たいていのことは実現できるけどね、タイムマシンは無理だと思うよ。お母さんは」

「なんで」

「どんなに科学が進んでも、絶対に不可能なことはあるんだよ」

「なに？」

「死んだものを生き返らせること。過去は、history(もう終わったこと)だからね」

娘はわかったようなわからなかったような顔をして頷いた。

He is history. 「彼はもうおしまいさ」

生きている人にも、死んでしまった人にも使う。

過去は取り返せない、記憶と記録にしか残らないということでは、過ぎた時間は死んでしまった事象ということになるのかなと思った。

温度差というもの

子供たちがシャワーのレバーに手が届かなかったころ。

「おかあさん、シャワーが寒い」

バスルームの窓があいているのかと思ったが、違う。

水の温度が低い、という意味らしい。

「お湯が冷たいの？」

「うん」

英語は「寒い」も「冷たい」も「コールド」なんだなと思った。

「そういうときは『ぬるい』って言うんだよ」

「わかった」

そういえば、夫が昔、カタコトの日本語で「コーヒーが寒くなる」と言っていた。

何故かかれらは「ぬるい」という言葉を憶えない。

「lukewarm:生ぬるい」という単語があるにはある。料理ではよく耳にするけども、何故かシャワー水の温度表現には使わならしい。

水の体感温度が「熱い」と「冷たい」しかないのだろうか。

うちだけだろうか。

やばい日本語

子供が生まれる前の話。

夫と付き合い始めたころのこと。

英語圏では、会話の最中に黙って話を聞いているのは失礼なんだ
そっだ。

私はとにかく聞き取るのに必死なので、さらに沈黙してしまう。
でも、黙っていると、聞き流されているみたいで、相手により印象
を与えないとか。で、がんばって餅つきの相槌を入れようと努力
はした。

でも、苦情は減らない。

「君ね、相槌をうつときに、日本語で『ああ、そう』って言うの、
やめなさい」

「え、失礼かな。でも条件反射なんだよね。こっちふうにあハ、と
か、ソッフとか気恥ずかしさが抜けない」

「けんかを売ってると思われたり、人格を疑われたくなかったら言
わないように」

「えっ？」

「asshole（肛門）に聞こえるから」
……滝汗。

英語の罵り言葉のひとつだ。ほんとは伏字にしないとイケない
くらい。

You ass/ar.se . だと「まぬけ」「このばかやろう」
的な。これに「hole:穴」がつくわけなので、さらに強調。

女性の口から出る言葉ではない。

とくに「あっ、そう」となると、まんまそう聞こえるらしいので、

要注意だった。

おかげで、しばらくは知人友人との会話には緊張を要した。相槌をうつたびに手で口を押さえたり、ポロツと出てから謝ったり。「ああ、そう、なんだ」と日本語でよくわからないフォローしてみた。ますます会話に集中するのが難しくなった。

でも、恥ずかしかつてないで「a-ha」を挟み込むのに、それほど時間はかからなかった。生れたのが二人とも女の子なので、言葉遣いには気を遣う。

子供と日本語で話すときは「おや、まあ」とか入れてみる。この言葉に似た俗語がないことは確認済み。

韓国人と日本人

冬が近づくと憂鬱になる。

次女九歳が上目遣いに食い下がる。

「お母さん、だから、ウッドじゃないでしょ、Woodでしょ」
「だからウッドウ」

「違う、Wood。ちゃんと口をすばめて」

「フウウッドウ」

「違うって、Wood」

延々とこんな会話を続けているのは、暖炉の前。薪を積み上げながら。

薪は「fire wood」

毎年、夫や長女やご近所の方に指摘されるけど、今年は次女だった。

私としてはがんばっているのだけどなあ。

日本人には難しい発音のひとつだ。私には不可能なのかもしれない。

こちらの国に来てすぐ、ポリテク（短大・職業訓練校・専門学校の総称）の英語コースに通った。アジア人の移民や留学準備生で溢れていた。

数日後に入ってきた韓国人女性と意気投合。カタコトの英語でつるんで遊んだ。

さて、彼女は「Z」の発音ができなかった。

先生と向かい合っては

「Zoo」

「ジュー」

「違う。Zoo」

「ジュー」

先生は首を振る。彼女も、溜め息をつく。毎日十五分か三十分はやっていた。

彼女は「ズー」と言えるようになったのだろうか。

私は未だに「Wood」が正しく言えない。

ハンサムな彼女

夕食どきに、次女（9歳）が訊いてきた。

「ハンサムって、女の人にも使うの？」

夫が答える。

「昔は何にでも使ったようだけど、今は男性美にしか使わない」

あれ？

おや？

もしかして。それは、日本人の私が生粋の英語人のあなたに、いつか教えてさしあげたことでせうか。

ジェイン・オースティンの『高慢と偏見』のBBCテレビドラマDVDを観ていたときのこと。夫が不機嫌になって、

「へんなドラマだ。おかしいな英語で喋る」

「どのへんが？」

「『女性に対して”handsome”とか、間違ってる」

「そうなの？」

あと、いくつか『変』な英語や妙な言い回しに文句をつけた。

私はそのあと、原作を読んだ。ジェイン・オースティンは18世紀の作家。

日本で言えば、江戸時代末期。鎖国が苦しくなつて外国船打払令が出されたり。

だから、たとえば南総里見八犬伝を原書で読んでみようとか、そのくらいのムツカシさがありました。DVDを何度も観て、粗筋やキャラを知らなかったら読み通せないような。

『Handsome』の形容詞は男性、女性、建物、情景、なんに

でも使われていた。

そうしてみると、他の時代劇でも『ハンサム』はいろいろな美的表現に使われていることに気がつく。

「『ハンサム』が男性美に限定されたのは、最近のことみたいよ。『高慢と偏見』は時代劇だし。わざともったいぶった言い回しをして感じを出してるんじゃないの。日本の時代劇なんか、もっとすこいから」

うん。今どき誰も『それがし』とか『なんとかでござるござるござる』とか、言わないし。

時代劇で『ちよーダサイ』とか言ったらすっこける。

「そうなのか」

わりと素直に納得して引き下がった。

夫の観る歴史物って言ったたら、ハリウッドのスペクタクルな冒険ものばかりだから、セリフはわりと平易なのが多いんだろう。時代考証をきっちりとしたものは違和感があるのかもしれない。

で、擦り切れるほど繰り返し観たDVDだけど、英会話の勉強にはあまりならなかった。

言い回しがご大層過ぎて……。周りから浮く。

狂牛病と早口で三回言ってみよう

暖炉の前で「ごろごろしていたら、長女（十二歳）が私の手を握ってきた。

私は「ぎゅうっ」と言いながら握り返した。

娘は「ぎゅうにゅう」と言っ握り返す。

しりとりのもり？

私は手を握り締めながら「ぎゅうどん」

娘は笑いながら「ぎゅうどん」

しりとりじゃないのか。

次には「ぎゅうにく」娘も「ぎゅうにく」と繰り返す。交互に手を握り返しながら。

長女ほどに日本語を解しない次女（九歳）は、悔しそうに私たちを眺めている。

私はちよつとハードルをあげてみる。

「きょうぎゅうびょう」

長女は「きおつぐうびょー」

「きょうぎゅうびょう」

「きおぎゅうびょう」

何が可笑しいのが、次女も笑い転げながら挑戦してみる。音だけで笑いを誘う言葉というのはある。

英語圏すべてがそうなのかわからないのだけど、こちらの人たちは「や・ゆ・よ」の発音が苦手だ。

「亮・竜」の日本人名は「りお」「りう」と発音されてしまう。

さて、次女も加わって「狂牛病」の練習をした。

結構時間が潰れた。

夫が「どういう意味」と訊いてきたので「mad cow disease」と答えた。

娘たちがげらげら笑い出した。ここは笑うツボなのだろうか。

誕生日の感慨

長女が一週間のスクールキャンプから帰ってきた。

彼女は、キャンプの間に十三歳になった。帰宅した彼女に、遅ればせながらのバースディディナー。長女の好物はラムチョップ。チヨコレートケーキ。

「ハッピーバースディ」

「十三歳になった感想は？」

「うーん。何も変わらないよ」

「ま、そうだよな」

「あ、でも。背が伸びた気がする！」

一週間ですか？

もうすぐ母親の私と同じ身長。手の大きさも、足の大きさも同じになった。

もちろん、りんごで洋梨の母親とは違ってモデルにしたいくらい手足が長くてスタイルが良い。

十三歳の記念に、みんながやっているからという理由でねだり続けていた、ピアス開通式に臨む。

白霜の季節

いや、本格的な冬になってまいりました。

何の話かといえます。時候の話です。ちなみに、ここは日本ではありません。

日本の冬は冬将軍ですが、こちらの冬の使者は Frost Jack (霜小僧)。

朝、窓を開けて外をみると、地面も車も屋根も霜で真っ白。霜小僧は世界を白い冬に塗り替えるのに大忙し。

六月が近づくとつれ、午前中は霧で視界がふさがれ、一メートル先の世界が白い闇で覆われます。

真冬よりも冷え込みが厳しくなる冬至の前後には、一日中霧が晴れない日が続く日も続き、乾燥機のない家に住んでいるのが悲しくなります。

白くて暗い、厳寒のじめじめした世界。

楽しみもあります。

それは成長していく『白霜』。

樹氷に似ていなくもないです。木の枝や、フェンスについた霜が、太陽の光に当たることなく何週間も放置されると、針葉樹の枝葉のようにどんどん伸びていきます。特に氷点下が続いた山陰や日陰の白霜は、三十センチは枝分かれしながら伸び続けます。

で、この自然の創造した美しい芸術品をどうするのか。

体当たりで落とします。フェンスが特に見ものです。白い樹木がバサッと一瞬に崩壊する瞬間に放出されるアドレナリンの量

に、屋内に閉じ込められた鬱憤も晴れます。

子供たちは頭のとっぺんからブーツまで、霜の結晶で真っ白。笑い声が凍りついた空気を揺るがして、霜小僧も撃退していません。

誰にも先を越されないように、誰もが自分の秘密の白霜の場所を持っています。

白霜は「hoarfrost：ホアフロスト」

英語でも、日本語でも響きの美しい言葉。

樹氷「rimed ice」とどう違うのか、よくわかりませんが、霜はどれだけ成長しても結晶単位ですから、氷として膨張していく樹氷とは別物なのかなと納得しています。

Hoarfrostの季節は、最も荘厳で、かつ美しい季節のひとつです。

英語で冗談を思いつく その1

うちの犬のルーシー（ラブハンターウェイ）が、野ウサギを捕まえた。

野ウサギは「hare：ヘア」

おなかいっぱいになって、満足そうにカウチで寝ている。

散歩中にウサギを捕まえられる確率は高くない。失敗することのほづが多い。

お！ 冗談を思いついたぞワタシ。いそいそと夫に言ってみる。

私「She won't have bad hare day
very often」

……

(bad hair day:朝からついてない日・寝癖が直せなくて出勤・登校したくない日のことらしい)

「hare」と「hair」の発音が同じなのをかけて、言葉を入れ替えても意味の通る慣用句と織り交せて……

……

夫「Yap, she isn't too bad. うん、
そうだね。腕は悪くない」

テレビから眼を離さずに気のない返事。

あれ……、いま、夫、スルーした？

貴重な瞬間が、さらっと流れるのも悲しいので、ここに書き留める（涙）

「今日は赤毛を抱きしめよう」の日だったそうぞで

赤毛の人々を「Gingga:ギンガ」と呼んで、どこでも彼らを見かけたらハグ「Hug:抱きしめる」しましようという全国的企画が今日だったとか。

夕方のニュースで言っていました。

赤毛といえば日本人には「赤毛のアン」とか、ハリポタの「ウィズリー一家」ですが、いわゆる赤い赤というより、赤+茶+金褐色な色。一般的に「Ginger:ジンジャー色」で分類されてます。虎猫はジンジャーキャットと呼ばれるので、明るい茶色も赤毛に分類されるもよう。

民族的にはスコットランド人の末裔とかナントカ……。

で、やたら抱きつかれた赤毛の人々がインタビューに応じた。

「知らない人に抱きつかれて嬉しいわけではない」

「抱きついていい？ って訊く人もいれば、いきなりタツクルしてくる人もいる。嬉しくない企画」

本人たちはあまり楽しんでないようでした。

もともと、赤毛の人たちはからかいやいじめの対象になりやすい、ということと差別をなくそう企画だったようですが、逆差別だろう、とか逆に特別扱いされたくない、という反応も多く。

(私が赤毛でも嬉しくないと思う)

というか、ハグに見せかけていじめたり、ということはないんだらうか。

まあ、以前から髪を染めるなら赤がいいなあと思っているんですが、好みの色合いはジンジャーでなく、「auburn:オウバーン(鳶色・金褐色)」。

深い赤が地の黒髪といい具合なコントラストになって鮮やかな縦じま模様ストリークがきれい。でも4時間かかるし、金額見ると引いてしまいます。

サインランゲージと超能力

九歳次女が、学校で手話を習ってきた。

左手の握りこぶしを上げて、その横で縦に右手をくるくると回す。

「これ、映画ね」

右手の指を三本立てて、左手の肘に当てる。

「これ、音節がみつって意味ね」

説明はそれだけ。

「お母さん、いまから私が言ってることあててね」

映画の動きをする。

三本指を立てる。

頭の上で山形の動きをする。冠らしい。

「プリンス・オブ・ペルシア」

「あつたり〜」

……音節が三つじゃなかったのか。それは単語が三つ。

「次いい？」と次女。

「いいよ」と母。

映画の動きをする。

四本指を立てる。

両手の拳をぶつける。

「そのぶつけるのなに？ 拳が痛いとか？」

「ばん！ って言葉、他の単語でなんてゆづの」

「クラッシュ。ああ、クラッシュ・オブ・ザ・タイタンね」

「す〜い、おかあさん」

……やはり音節を単語の数と勘違いしている次女。

「もいつかいやりたい？」と次女。

……やりたいのは君だろう……。

「いいよ」

映画の動きをする。

四本指を立てる。

母速攻で

「ロード・オブ・ザ・リングでしょ」

驚愕する次女。

「なんでわかるの〜？ お母さんサイキック（超能力者）？」

わからいでか。

千羽鶴を折る

母が癌で入院しているという。いろいろな理由ですぐには帰れない。峠を越してから連絡を受けた。今は回復中とか。

なんとなく紙の切れ端を正方形に切つて、鶴を折り始めた。こちらの国には折り紙はない。クラフト用紙は厚すぎて折り紙には向かない。普通のノートやコピー用紙を四角く切つて鶴を折る。

子供たちが教えて教えてとつきまとう。

日本人の血を引いているのだから、日本語は忘れても、鶴くらいは折れるようになって欲しいなあと思う。

熱心につきまとうので、教えてみる。

「角と角を合わせて」

「辺と辺を揃えて」

角が合わず、辺がずれるので、次女（九歳）癩癢を起こす。

「ここに指をあてて広げて起こして。ここを押さえて折る」

袋折ができない長女（十三歳）が癩癢を起こす。

……。

折り紙というのは、かなりの協調動作と繊細な指の動きと正確な折り方が要求される技術なのです。

折り紙指導は根気と忍耐の試練。

いびつな鶴が増えてゆく。
心がこもっていればいいか。

英語で冗談を思いつく その2

天気が良くて、夜には恐ろしく冷え込み始めた。
寝る前に夫が犬に用を足させるために外に出す。外は既に霜が降りて車も芝も家々の屋根も白く染まり始めていた。

「Already freezing outside. (「すでに冷え込みだ」)

あ、冗談思いついた。

「アイ・スィー」

「おやすみ」

え、スルーされた？

「ちよつと待って、今のわかんなかった？」

「何が？」

「だから、I see. (「わかった」と、Icy (「超寒い」とでひっかけたのよ!」)

「ふうん」

まだスルーするか。

多分、わかっててスルーされたんだろうけども。

寒すぎるダジャレだったのかもしれないが、私だって頑張ってるのよ

活字になってから勘違いがわかった場合の、作者は

懐かしい日本のアニメで「セーラームーン」というのがある。

それぞれの戦士が

水星がセーラーマーキュリーで

金星がセーラーヴィーナスで……。

で、五人のセーラー戦士たちに、もう一人加わるのに、土星のセーラーサタンというのがあった。

役割的に世界を終局へ導く破滅の戦士。

日本にいたときはなんとも思わなかった。

アニメ自体、姪っ子が観ているのを横で眺めているだけだったし。

こつちきてから、土星はサタンでなく、サターンであるという事実にはっと気づく。

サターンは農耕の神。破局とか滅亡とは何の関係もない。

あれ、サタン（悪魔）勘違いしていた？

そもそもマーキュリー、ジュピター、ヴィーナスがローマ神話だし。キリスト教の悪魔サタンとは何の関係もないわけで。

作者勘違いしていたのだろうか。

悪魔サタン「Satan」発音は「seitn」セイトンで「e」の部分に強いアクセントがつく。

豊穡の神「Saturn」発音はサの部分「ae」の二重母音で、ターンの部分は弱く発音する。

作者様の勘違いだったのかなあと長い間思っていたけども、小説のネタ探しに別件で占星術について調べていたら、サターンはギリシ

ア神クロノスに相当し、クロノスはゼウス（ジュピター・木星）の父親で、ゼウスに殺されていることを知った。

世界に対する恨みはあるわけだ。

で、土星の記号は農耕の道具である鎌。

鎌ってのは、ちよつと死神っぽいかもしれない。

しかも、西洋占星術では凶星とされている。

というわけで、作者様の勘違いではないのかもしれないな、思ったりもしたが、本人に確かめる気は毛頭ないです。

信号の色は

信号は青になってから渡りましょう。

久しぶりに街へゆく。街には信号がある。

田舎では、工事中の片側通行とか、霧の深い冬の一車線橋くらいしか信号をみないものですが。

さて、夫が運転手。助手席にいた私は信号が青に変わったので日本語でなにげに呟く。

「青だよ。出発」

半端に日本語を知っている夫と長女と次女が合唱で突っ込んでくる。

『青じゃないでしょ。緑でしょ。(It's not blue, it's green, mum!)』

街へゆくといつも同じことを言っているような気がします。

でも、青信号は青だよねえ。

信号の色は赤、青、黄って三原色じゃないの？

確かに信号は緑だけだよ。青緑のもありますけど。

日本人は青緑色盲症だと思われているかもしれない。

青菜、青リンゴ、目に青葉。緑は青の仲間なんだろう。

私の母は普通に緑色の物体を「その青いのとって」と言って私を混乱させたし。

でも、緑は緑だと言い張る夫と娘たちにちよつと反論してみる。

「英語だつてあるじゃない。たとえば、赤毛っていうけどさ、明るい茶色とか、赤みがかつた茶とかが普通で、ほんとに信号みたいに真つ赤な赤い髪の毛の人なんかいないじゃん」

「だからジンジャーっていう名前があるでしょ」と娘。

「でもレッドヘアでまとめてるでしょ。それとおなじじゃないの？」

なんとなく勝った。

文化とか、色彩とか微妙。

娘の日記

「お姉ちゃんが勝手に読む」

と、顔を真っ赤にしながら泣いて怒る次女（十歳）。

読まれたくない日記は、書いたらしまわないとねえ。

姉妹の寝室は共有なので、学校のバックパックのポケットを定位置にしたらと提案してみたところ、次女はしぶしぶとバックパックの中に入れた。

十歳の誕生日からつけ始めた日記。続いているようで、感心。

子供たちが寝てから、私の仕事机に次女の日記が開いたまま放置されているのを発見。

これは、親に「読め」ということだろうか。

親が決してしてはならないこと　子供の日記を黙って読むこと。
いやでも、これは私の机。しかも、今日の日付で開いている。

どれ。

クラスメートの……

E君が、E君の、E君に、E君で、E君も、E君は。
だけど、K君もイケているんで迷ってしまうそつだ。
ハートマークが飛び交っている。

十歳……。

翌朝、娘に日記はしまっておくよつにと注意する。

「お母さん、読んだの？」

怒りそうな娘に、親として釘を刺しておく必要があった。

「次女ちゃん。『書く』のつづりが間違ってるよ。wrightじゃなくて、writeだからね」

「うわぁ。だから見ちゃだめ」

これでスプリング地方大会五年生の部・学校代表に選ばれるんだから、うちの学校が勝てない理由がわかってしまいました。

まあでも、日記って人に読ませるために書くんだよね。ほんとは。

紫式部日記みたいに、人の悪口を書いて千年経った後も読まれるくらいの日記を残してみたい。

娘の日記（後書き）

さらしものにしてしまつ母。

娘は日本語が読めないので、たぶん、一生知らぬが仏。

最低のジョーク

長女（十三歳）と次女（十歳）が珍しく仲良くしている。
次女が楽しそうにこっちに来た。

「お母さん、サイテーなジョーク、聞きたい？」

「別に聞きたくはないけど、言いたかったらいつてくらん」

「あのね……」

人の足元を指して、大声で叫ぶ次女。

『Look under there!』（ほら、下を見て）

母は下を見る。

長女「だめだよ、お母さんじゃ」

次女「じゃ、私とおねえちゃんでしょう」

次女、長女の足元を指差して『Look under there
!』

長女、下を見て『Under where?』（どこの下よ）

次女『ha-ha, you said underwear!』

（下着だってさあ!）

二人とも笑い出す。二人で母を見て同時に『get it?』

アンダーウェアという音を踏んでいるのはわかるけど。

どこが笑いのツボなのか、私にはわからない。

サイテーなジョークなんだから、本人たちも面白いと思っているわけではないのだろうか。

笑ってはいけない名前

その一、

長女が誕生日の招待カードを書いていた。宛名に「エミリー・ピーコック（一部仮名）」とある。

「ピーコック？（Peacock・孔雀）すごい名前だね」「でしょ」

思いついて電話帳を見ると、なかなか笑える名前がある。

その二、

昔、近所にすんでいた家族は、なぜか屋根の上にもスコットランドの旗が掲げてあった。苗字はスチュアートだ。

お母さんの名前はメアリー。

私「結婚するとき、スチュアート姓になるのに、抵抗なかったですか？」

メアリー「ちょっと考えたけどね」

私「で、息子さんが『ジエームズ』と」

メアリー「やっぱり、こだわってみようかって」

だから、スチュアートさんの家にはスコットランドの旗がなびいているのだ。*注1

その三、

長女の新しい担任の名前が「ミセス・コンダー」

長女「名前がアンなのね」

私「結婚するときに悩まなかったのかな」

長女「なんで」

私「まあ、アンナだったらきつと悩んだろうな」

長女「だからなんでよ」

私「続けていってごらんよ」

長女「Anna Condor……アナコンダ！」

注（アンナのンは小さく弱く発音するので、アナ、と聞こえる）
ひとしきり笑う親子。

長女「でも、アン・コンダーだから」

私「早口で言つと、やっぱりアナコンダに聞こえるね」

笑い転げる母、呆れる娘。

三者面談のたびに、笑い出しそうになる無礼な母親は私。

笑ってはいけない名前（後書き）

注1・エリザベス一世によって処刑されたスコットランド女王、メアリー・スチュアートの息子、ジェームズはエリザベスの死後、ブリテン・スコットランドの国王ジェームズ一世となる。

笑いものにしちゃいけないと思う名前

民族的な揶揄があつて、あまり大きな声では言えない名前ネタ。

スコットランド系の姓の頭に、マック(Mc、Mac)がつくのをよく見かける。

「の息子」という意味だ。家族姓のない中世以前の時代に、父親や出身を名前に添えていた当時の名残だろうけど。

「ジェームズ・マクドナルド：James MacDonald：
ドナルドの息子、ジェームズ」

「リチャード・マックリン：Richard McLean：リ
ーンの息子、リチャード」

といったふうに。だからMcのあとは大文字になる。

ここまでは多少英国に知識のあるかたには周知のことだと思いますが。

アイルランド系では「Mc」の代わりに「Fitz」がつかます。

「Mark FitzGerald：ジェラルドの息子、マーク」
な、わけですが。

名前が男子の場合はブラックなジョークに使われる。

なんとなく会話の流れで、その人の名をフルネームで出すタイミン
グで。

”Mark FitzGerald.”

”Does he?”

という、さりげなくイジワルなやりとりで揚げ足を取られる。

これは

”Mark FitzGerald”「マーク・フィッツジェラル

ド君だよ」

が脳内変換されて、

” Mark fits Gerald.” 「マークとジェラルドは
デキているんだ」

となり、それに対する返答 ” Does he? ” 「そうなのか」
で変換確定になってしまう。

(蛇足説明：マークもジェラルドも、男子名につき。つまり、腐な
ジョークですね)

イングランドのアイルランドに対する上から目線の庶民レベルな
んだらうけど。

まあ、ブラックなんで、あまり大きな声で読まないくださいね。

罵り言葉 その1

英語で男性が女性を罵るのに「ビッチ：雌犬」は日本でもよく知られています。

どのくらい失礼なのかというと……。

ある日、近所に新しい家族が越してきた。

同じ年頃の子供たちがいるということで、お友達と一緒にお茶に誘われて訪問する。

やがて、ご主人が帰ってきて。

なんか口の悪いご主人だなあと思っているうちに。

庭のホースが出しっぱなしと怒り出して、奥さんを「You bitch!」と罵りだした。

びっくりして、同席したママ友に

「ああいうの普通？」

「いやあ、普通じゃないと思う」

とママ友は驚いていた。

数分後、その新しいご近所さんは夫婦で口が悪いということが判明した。

ママ友は「距離をおいたほうがいいわねえ。ご主人は避けたい」

帰って夫にそのことを話すと。

「そんなひどいダンナ、なんで離婚してしまわないんだ」

ええ！ 五分おきにFuckとか叫んでいるあなたがそこまでおっしゃるのですか？

罵り言葉ひとつが離婚の原因になるわけだ。

で、そんな私の夫がここ二年ほど「You bitch!」と叫

ぶことがたびたびある。

ラブラドルとハンターウェイの交配犬を飼いだして。仔犬のころは家のなかで粗相をしたり、逃げ出して探し回ったり大変。

自分で飼いたいと言いだしたんだから、ダンナの責任。

仔犬がトイレに間に合わずに、みるみる漏らしたキッチン薄黄色い水溜りを見て、夫が叫んだ。

” You bitch ! ”

私は呆れる。

「雌の犬に向って雌犬と叫んで、果たして罵りになるのかしら」

夫は溜め息をついて「ならないよなあ」と床を拭き始めた。

以来、彼女が粗相をしたり、言うことを聞かないという理由で夫が「ビッチ」と罵るたびに

” You can't blame her for what she is . ”

と私は口を挟んでいる。

「意識：雌犬が雌犬であることを責めてどうするのよ」

罵り言葉 その1 (後書き)

F c kはひとり言で言う分には問題にはならない模様。
誰かに向けられると、たいへん問題らしい。

ローマ字が読めるのは日本人だけだから

ローマ字表記法というのは、日本人が発明したもので、英語圏の人には読めない。

たぶん、ローマ人（イタリア語というより、ラテン語）にも読めないだろう。

アルファベットの子音と母音を組み合わせる表記、発音するという点では、一番近いのはスペイン語だけでも。

だから、日本人が名前をローマ字表記して見せても、不思議な読み方をされてしまう。

たとえば「一之瀬」を「Ichinose」と書いても「イチノズ：鼻が痒い」になる。

「愛子」はエイコ、「Yuki」は「ユーカイ」と読まれてしまうことがある。

だから、英語ネイティブに読ませるときには英語の発音に沿って表記すればいいと思うのだが、日本人はローマ字表記に固執する。

英語人が日本語を覚えるときには、似たような音の単語を添えてあげるのが親切だ。

たとえば数字の読み方。

夫や娘、頼まれた方に日本語の英語で数え歌を作ってあげた。

すでに知り合いの英語人が始めていたのを完成させただけです。

1 , i t c h y 痒い

2 , k n e e 膝

3 , s u n 太陽

4 , s h e 彼女

5 , g o 行く

- 6 , r o c k , i o c k 岩、ひと房の
- 7 , ナナ・n a n n a おばあちゃん、おばさん(年配の女性)
シチの読み方はc - c h e eしか思いつかなかった。
- 8 , h a t c h 飛行機や船などの扉
- 9 , キユウ・q u e 順番
- クの読み方はc o o (カツコウの鳴き声)
- 10 , j e w ユダヤ人

ローマ字の読み方から教えてあげるよりも、早くてらくちん。

おじいさんの古時計

子供たちが赤ちゃんのとき、寝かしつけるためによく歌ったのが「お祖父さんの古時計」という歌。もとがイギリスの（たぶん）童謡だし、少し大きくなったら学校で習うだろうから、もしかしたら覚えていて日本語に興味を惹かれるかもしれないとも思った。

十年後。

長女「おじいさんの古時計ね、お母さんの歌と学校で習ったのと歌詞が違うんだけど」

母「言葉が違えばメロディに合わせるために歌詞を変えることはあるよ」

長女「英語のおじいさんの古時計は九十九年チクタクしているのに、日本語のは百年になってる。数字を変えてしまうのは正しい翻訳じゃないんじゃない？」

母「訳者がメロディに歌詞をあわせるほうが大事だと思ったんじゃないのかな」

長女は試しに九十九年でメロディに合わせようとしたがすぐにあきらめたようだ。

単純に、百年と言ったほうが日本人としては、一世紀という時の長さを感じ易いからじゃないだろうかとも思ったけど、自信はない。なぜ英語では百年でなく九十九年などというスーパ一の値札みたいな数なのか、いつか夫に訊いてみようと思っている。

充分に大きくなったら

「形容詞 + enough to 動詞」という言い回しがある。
直訳すれば「〜するのに十分な」という意味。

” One day, I will be rich enough
to buy a house.”

「いつか家を買えるだけのお金持ちになる」とか。

子供たちは読書が好きだ。

小学校に上がってすぐのころ。

図書館でちょっと難しい本を持ってきては、読めなくてがっかりして棚に戻す彼女たち。

「きみにはまだ難しいよ。もう少し大きくなったら読めるようになるからね」

” You can read it when you are
old enough.”

とどちらにも口癖のように言い聞かせてきた。

長女が八歳くらいのころだったろうか。

街の書店で在庫処分をやっていた。ちょうど、映画のロードオブザリングにはまっていた頃で、一冊のペーパーバックに原作の三部作が全部おさまって4ドル：300円くらいだった。

トールキンの「指輪物語」のファンだという人は多いが、原作を読破したという人はあまり見たことがない。私は高校時代に和訳本に挑戦して挫折した。あれをファンタジーだから児童文学だと思っ

ている人が多いようだが、実はヨーロッパの広範な神話、伝説伝承を集大成したトールキン独自の世界観に基づき、宗教的な含みもあるオトナの壮大なハイ・ファンタジー。

映画のレイティングもPG（保護者と鑑賞）とかG（一般）じゃなくて、M（大人向け）だし。

原語で読むのはさらに難しい……。

映画も見たことだし。あらすじ知ってるし。もう一回挑戦してみようかなと思ってペーパーバックを手にとって、中身をパラパラ見てから考え直してワゴンに戻した。

長女が、

「どうして、お母さん、好きでしょ」

「うーん、小説はお母さんには難しくてねえ。英語だし」

「ふうん」

文房具や他の子供用の本などを持ってレジへ行く。精算前にポンと放り込まれたペーパーバック「指輪物語三部作」長女がにっこりして言ってくれた。

” You should buy the book when it is cheap. Keep it until you are old enough to read it.”

直訳：

「安い時に買っておいたらいいじゃん。お母さんが読めるほど大きく（賢く）なるまでとっておいたらいいの」

一本とられました。

お母さんが「OLD」になるってことは、ほんとうにもう、老化するだけなんだよ〜。

いまより呆けることはあっても賢くなる望みは……。

後日談。

義母が他界して、義父がレストホームに行くといふので、彼らの家具や財産を整理していたら箱入りの「指輪物語豪華復刻版三冊セット・オリジナル挿絵入り」が出てきて、もらって帰った。うちには指輪物語三部作の廉価版と豪華版が両方あることに。

復刻版のほうは、たいへん豪華で本棚の飾りになっている。

夫はいつかオークションで高く売れると思っっているけど、私は手放したくないなと思っっている。

そのうちオトナになって読めるようになるかもしれないから。いまは長女（13歳）とデルトラクエストを読んでいます。

チャングム放映中

ただいま、当国では韓国時代劇「大長今」が再放送中。家族で頭を並べて観ています。

邦題は「女官チャングムの誓い」ですね。

英題は「Jewel in the Palace: 宮殿内の宝石(?)」

プログラムの始まりに、大きく出てくるタイトル漢字「大長今」

次女がテレビ画面に手を伸ばして漢字をひとつづつ指さしながら、

「『大 ジュエル』 『長 イン』 『今 ザ・パレス』 だね！」

と嬉しそうに解説。

母はすかさず突っ込みました。

「いや、違う。ぜんっぜん、違う」

南風はどこから吹く

日本は猛暑らしいですが、こちらは厳寒期を越えたところです。と思つて洗濯物を外に干していましたが、また寒さがぶりかえしてきました。

当地では『Southernly:サザリー、南風』は南極から吹いてきます。

皇帝ペンギンは、真冬に南極の奥地で密集コロニーを作つて産卵、厳寒の中で父ペンギンが抱卵するそうですが。

お父さんがうっかり卵を落とすと一瞬で凍つてしまい、雛は即死だそうです。

夕方のニュースで天気図を見ると、風の向きを示す無数の矢印・サザリーが、南極から当地を目指しています。

southerly、南半球におけるサザリーの邦訳語は『南極おろし』

暑さに苦しむ皆様に、骨が軋む寒さをお届けできたでしょうか。

「極光」 サザンライツ

寒い話題をもうひとつ。

真冬に夜の南天を彩る「極光：オーロラ」のことを、主人は「Southern Lights：サザン・ライツ 南の光」と呼びます。

緯度の関係なのか、気温や大気の関係なのか、素人にはわかりませんが、南緯45度から見上げる極光は、揺れる極彩色カラーテンの色や形をしています。

地平の少し上のあたりから、透明な火焰が半天を赤く染めながら、天頂を目指してまっすぐに立ち昇っていく。

日本の古い文献に、東北で赤い極光が見られたことを記録したという記事を読んだことがあります。当時の天文学者は、それを凶作や悪天候など、不吉の前兆としたそうですが、なんとなくわかりません。

濃藍の星空を焦がす昏い天の火は、凶々しいと言われればそうかなと思ってしまう。

何も考えずに見ていれば、ただひたすらに美しいのですが。

この地に半世紀生きている夫も、片手で数えるほどしか見たことがないそうで、居住十年に満たない私が一度でも見れたのはたいへんな幸運でした。

でも、街の光の届かない郊外で、吐く息さえ瞬時にきらきらと結晶化してしまうような厳寒の夜に、わざわざ外に出ていることがそもそも稀なのです。気象条件のかなう夜にまめに戸外に出ている。

れば、案外と見る機会が多いのではないかと思います。

と思いつつ、暖炉の半径二メートルから動くのもつらい氷点下の季節です。

相手を思いどおりに動かす魔法の言葉

相手を思い通りにする、というよりも、これを言わないとこちらの言うことを聞いてもらえない、と言ったほうが正しいかもしれません。

子供が生れる前、ホテル勤務当時の体験談。

当地出身の受付嬢が届いたファックスを読み、ひどく機嫌を悪くして、ファックス紙を机の上に放り出した。

「ほんとにあのダッチ*（オランダ人）は失礼よ」

私はファックスを覗き込んだ。離れたところにある分館のマナージャーから、備品の配達を依頼する内容で、失礼な言葉や文章は特に見つけられなかった。

「後回しにするわ。ほんつと頭くる」

「何がいけないの？」

私はファックスを二度読んでもわからない。困惑して理由を訊ねた。

「『あれとこれを持って来て』のあとに『Please』が添えられてない」

そんな理由で後回しにされるほど、気分を害するものなのか。

親しき仲にも礼儀あり、という日本語があるけども、英語圏では職場はもちろんのこと、家族や親しい友人、目下のものにも、何かを頼む時は最後に「プリーズ」を言わないと人間関係がまずくなるようです。

日本語の「お願いします」だけでなく「〜してください（ますか？）」「〜してくれる？」「〜してちょうだい」にも該当するもよう。

「あゝ、でも、私も何か頼むとき『プリーズ』をつけ忘れる。気を悪くした人がいっぱいいるんだろうな」

と私。受付嬢はきよんとして私を見た。

「え、日本人って礼儀正しいんじゃないの？」

「文章の構造が違うというか……。お願いするときはセンテンス（文章）の語尾そのものが変わるから『お願い』って独立した単語は、よほど深刻で急ぎでないかぎりは、くどくなるから付け足さない」

「へえ」

「私、気をつけないとなあ。ダンナが私に『プリーズ』を言わせたがるのは、そういうことか。オランダ語もそうなんじゃないのかな」

受付嬢の表情が硬くなる。

「xxxは仕事でもう十年もここにいるんだから、いい加減に覚えてしかるべき。典型的なダッチ！」

人種民族間にありがちな反感もあるもよう。

オランダはヨーロッパの中では男尊女卑社会。彼女から見ると、そのマナージャーはどうか横柄な印象があるのかなと想像した。

子供が生れてあらためてわかったこと。

夫も、友人も、近所の人も、通りすがりの知らない人も、子供たちが言葉を覚える前から『サンキュー』と『プリーズ』を条件反射になるまで教え込む。

そしてどんな小さな子供でも、話せるようになったら『プリーズ』を言わないと、誰にも『お願い』を聞いてもらえない。

そして『プリーズ』と言われたら、最優先で言うことを聞かなくてはならないという強迫観念も、同時に植え付けられるようだ。

次女に『プリーズ』と言われて、ものすごく嫌な顔をしておやつをわけてあげる長女を見るにつけ、摺りこみというのはすごいもの

だと思っ。

もちろん、大人を相手に『プリーズ』をつけて借金を申し込んで
も、効果はありません。

相手を思いどおりに動かす魔法の言葉（後書き）

『ダッチ（オランダ人）』は蔑称、というほどではありませんが、言い方によっては馬鹿にした響きになります。

イギリス人の、特にイングランド人を『ポツシュ（本来の意味は”上流の”）』と呼ぶのと少し似ています。

当事者が『私、ダッチなの』ということもあり、親近感と侮蔑感が同居する不思議な呼び名。

一方、日本人を意味する『ジャップ』は完全な蔑称なので、侮蔑の意味以外で使われることはまずありません。

「そいつを黙らせる」という言い返し

” Put a sock in it.”

これだけではなんの意味わかりませんが。

直訳すれば「靴下をいれておけ」「靴下を突っ込め」になります。で、何に靴下を突っ込むのか。

代名詞の「it」が意味するところは……「口」です。

くだらないおしゃべりや、人にばらされたくない噂話をやめない人へ対する嫌味。

私「この場合さ、靴下は単数形なんだね（『socks』でなく『sock』）」

夫「片方だけで充分」

私「やっぱり、靴下は使用済みを突っ込むわけ？」

夫「Of course.（もちろんだよ）」

家の中でも一日中、靴と靴下を履いているお国柄ですから。

一日の終わり、靴を脱いだとたん部屋中に蔓延する……以下自重。

物言えば、くちびる臭し……口は災いの元です。

「そいつを黙らせる」という言い回し（後書き）

お知らせ：第一話の前にひとつ挿入追加というのを入れてみました。
この機能を使ってみたかった、というだけの理由ですが、新着には
上がらないようなので（当然ですが）こちらに報告しておきます。

「ハーフ」は半分

長女が小さかったときのこと。

訪ねてきた日本人の友人が「さすがにハーフは可愛いね」と言ってくれた。

それを夕食の時、夫に話した。

夫はフォークを口に運ぶ手を止めて、まじめな顔になった。

「一個の人間を指して『ハーフ』（半分）は失礼だろう。君の子供だよ。『ハーフ＆ハーフ』とか『ハーフジャパニーズ』と最後まで言うか、『Mix:ミックス』と言いなさい」

和製英語ではなんの抵抗もなく、混血といえば『ハーフ』だったけど。

こちらではちょっと差別的な意味を含むのだろうか。それとも単に『半分』という言葉の意味が一個の人格を否定するようで不自然なのか。

以来、『ミックス』という言葉を使っている。英和辞典を調べても、特に『混血』という意味は含まれてなかったものの、注意深く周りの人の会話を聞いていると、『ミックス』のほうが使われている。他の英語圏ではどうなのだろうかと思った。

今では『血が混じる』のではなく『遺伝子が交わる』のだと誰でも知っているのだから、『混血』という言葉も実は正しくはない。

英語で『混血』に該当する言葉に『ハーフ・ブラッド』がある（ハリー・ポッター6巻のタイトル『Harry Potter and the Half-Blood Prince』など）が、会話ではあまり聞かない。

あと『ハーフ・ブリード』なんて呼び名もあるけど、犬や牛の交配を連想してしまう。

多民族国家では、ハーフもクォーターも、八分の一の場合も、遡れる遺伝子がそれぞれ違ったりなんて人は珍しくないで、いちいち何分の一の　と説明していたら、回りくどくてたいへんだ。やはり、裏も表も複数の意味もない、ひと言だけで完結できる『ミックス』が人種の垣根的に合っていて好きだ。

二、三年してから、そんな話を日本人にしたら、こういう会話になった。

客「日本でも最近ハーフは差別用語だって、使わないようにしているみたい」

私「じゃ、なんて言うの。日本語の『混血』じゃ、古いしもつと差別っぽくない？」

客「ダブルとか」

私「まじ。doubleには偽善者とか、裏表があるとかの意味もあるのに。状況次第では二枚舌な人間かと思われそう。他にまじな言葉が見つからないのかしら」

あれからまた数年経ちましたが、異文化・異人種間に生れた子供たちの公式日本語名称、今ではどうなっているのでしょうか。

「ハーフ」は半分（後書き）

ちなみに、冒頭の友人のセリフの全文はこうでした。

「両親がどうでも、さすがにハーフの子供は可愛いね〜」

いや、否定はできないけどね。

ハーフだから美形とは限らないよ。

石を投げればハーフに当たるところに住んでますが、やっぱり美形は希少価値です。

東西南北の語呂合わせ

天気の良い日に、次女（十歳）と歩いて買い物に行った。
雲ひとつない空を見上げて、訊いてみる。

「どっちが南で西かわかる？」

次女は太陽を見上げて”Never Eat Salty We
et-bix”（塩からいウィットピックスは絶対食べるな）と唱
えながら、時計回りにまわりつつ、四方を指差した。

「こつちが西」

と、午後の太陽が傾き始めた西を指す。

「学校ではそうやって方角を教えてくれるわけ」

「うん、そう」

北天の太陽から始まって、NEWSの頭文字順に語呂を合わせる。

なんとなく笑いが止まらず、楽しい気分坂を下っていった。

東西南北の語呂合わせ（後書き）

ウイート・ビックス（W e e t - B i x）サナタリウム社の小麦粉
全粒シリアルビスケット。

長方形のビスケットの形をしていて、バサバサして甘さはなく、口
ーカロリー・高繊維食品。

好みて砂糖や果物、ヨーグルトの上に牛乳をかけて朝食とする。
牛乳をかけるとどろどろになる。

W h e a t B i s c u i t とか、W h e a t i e s などの商標名
で各国各社からも出ている。

いつか英語の辞書に載るかも『茶色の親指』

ガーデニングが家事の必須項目とみなされる当地で、鉢植えひとつお世話できない妻とか、夫とか、恥ずかしい存在らしいです。

でも、得意苦手は誰にでもあるわけで、特にガーデニングの才能に優れた方を『緑の親指：Green thumb』と呼びます。

私の母は、団地のベランダに花壇を造ったり、死にかけた鉢植えを持ち込まれては、再び緑繁らせ、花を咲かせて持ち主に返してあげたり、真正銘の『緑の親指』でした。

しかし、娘には遺伝しなかったようで……。

私の親指が触れるものは何でも枯れてしまいます。

ミニトマトは茎から折れる（間引きをしなかったから）

唐辛子は実がふくらむ前に腐る（水のやりすぎ）

レタスは萎びる（日差しが強すぎた）

花瓶の花はしおれる（水替えてるけど）

薔薇に触れて枯らすのはポーの一族……。

『とにかく簡単な鉢植え』を贈られました。水を上げなくても大丈夫な鉢植えは、かえって水をやるのを忘れてしまいます。半年くらい？

「で、ミユキはガーデニングはするの？」

と、素敵な庭をお持ちの両隣の奥様から訊かれると、夫は

「こいつはブラウン・サムだから、植物には触らせないようにしているんだ」

「ブラウン・サム？ 何それ？」

私にはつこりと答える。

「なんでも枯らしてしまう親指。私が考えました。みんなで広めたら、十年くらいでCollinsやオックスフォードの辞書に載ってるかも」

日本人が発案した、新しい英単語。

『Brown Thumb』をどうかよろしく。

世界の片隅でエンガチヨされてしまった!?

地方によって呪文や印の切り方に違いがあるのですが、私の生まれ育った地方では『中指を人差し指に交差させ』て『エンガチヨ』と叫ぶと、人の穢れ（犬のフンを踏んでしまったとか、便器の水がかかったとか）を受けなくてもすみます。

日本のこどもに受け継がれる民俗風習のひとつです。

これを、赤道の反対側の英語圏の国でやられました。といっても、指を交差させる部分だけです。

ホテル勤務当時、臨月に入った私は退職することになり「ベイビー・シャワー」というバスケットいっぱい乳幼児製品（よだれかけや靴下、ベビーオイルなど）をもらつての送別会。

そして、仲良しだった当地出身のおねえさんが、急に両手を高く掲げて私の名を呼び……。

中指と人差し指を交差したんです。

びっくりしました。

彼女は『Good Luck!』と叫んでいたのです、エンガチヨでないことはすぐにわかりましたが、さすがに固まってしまった私に気がついた人もいて。

「どうしたの、ミユキ」

私はちよつとどきどきしながら訊ねました。

「これって（指を交差させながら）グッドラック、って意味なの？」

「そうだよ」

「あと、嘘をつくときに相手にわからないように背中で指を交差させるバチがあたらないとも言われてるよ」

「そうなんだあ」

所違えば、ですね。私の反応に興味を持った人が訊いてきました。「日本でも同じことをするの」

「うん、でも意味はかなり違うけどね」

穢れや不浄を避けたり移したり落としたり。

そういう感覚を説明するところからするのが難しく、『穢れ』に該当する単語も思いつきませんでした。

『不思議の国ニッポン』の文化の一面、ちゃんと伝えられたかどうか分かりません。

退社の際に、みんなでいっせいにエンガチヨの印を切られた日
本人は、私くらいなものでしょうか。

世界の片隅でエンガチヨされてしまった!?(後書き)

ジブリ映画の「千と千尋の神隠し」では、指を繋いで人に切っても
らうやり方でしたね。

遠交近攻、というか、お隣とは……

韓国時代劇「大長今」を観ていたときのこと。

韓国の沿岸警備と日本の海賊となんだかんだありました。

次女「日本と韓国って、仲悪いの？」

私「隣国同士って仲が悪いものだよ。フランスとイギリスみたいなもんかな」

長女「ふうん」

ものすごく大雑把と思ったんですが、わかりやすかったようです。

ふたりとも、まだ世界史とか習っているわけではないのですが、イギリスの海軍ドラマ映画「ホーンブローアー」で、イギリス軍とフランス王党派の都合でイイヤヤ同盟に従わされた両国兵士たちの対立を観たのを思い出したのでしょうか。

イギリス軍はフランス軍を「フロツグ：蛙」と呼び、フランス軍はイギリス軍を「ロプスター：伊勢海老」と呼んでいます。

なぜフランス軍が蛙なのかはわかりませんが、エビは茹でる前は青くて、茹でると赤くなるのでイギリス海軍（青い軍服）と陸軍（赤い軍服）の両方に使えて便利なのかも。

韓国の時代劇にあんなにはまるなら、日本の時代劇も取り寄せようかなとか考えますが、娘たちには英語字幕があるんですけど……。

昔、送ってもらった「毛利元就」のVHSが、あるにはあるんですけどね。

NHKは大河ドラマのDVDセットに英語字幕をつけてオセアニアのリジョンコードで輸出しようとか、検討してくれると海外在住者は喜びます。

「ぼのぼの」とか「ドラえもん」「ジブリ映画」なら字幕がなくて
もわかるみたいですけども、どのくらい理解しているのか謎です。
時代劇はまた、現代の日本語とは違いますから。

自殺的なブロンド

夫の狩猟雑誌をばらばらと見ていたら、プラチナブロンドの美女が獲物を前にライフルを構えて写真におさまっていた。

「どんな雑誌でも、必ず妙齡のブロンド美人がポーズをとってないといけないっていうのが、こちらのお約束なのかしら」

「その女性は本物のハンターだよ。彼女のお兄さんが狩猟事故で亡くなってからも、ひとりで続けているってんで取材されてるんだ」

「へえ。それにしてもきれいなホワイトブロンドだね。本物かな」

「染めただけだよ。眉毛の色が違うだろ。『suicide blond : 金髪自殺』だ」

「何それ？ 染料が毒物だとか」

「She dyed herself (= < She died herself)」

(dyed と died まったく同じ音 : 彼女は自分で染めた = > 彼女は自分で死んだ)

「なるほど」

英語のダジャレには、納得するだけで笑わない私の反応に、夫は慣れている。

一般常識選手権……とても言うのかな 前編

当地のお子様たちには五年生からクイズ大会、というのがあらしい。一般常識についてどんだけ正しく答えられるか、学年別学校代表に選ばれ、地区大会、地方大会、やがては全国区^{ナショナル}へと。

次女はこの学年別学校代表に選ばれたいと、がんばっていた。その選抜試験が終わり、結果が出たらしい。

「私、きっと選ばれるよ。五位までが代表で、三位だったもん」

ほほう、すごいじゃん。

前学期にはスペリングコンテストの学年別学校代表に選ばれたり

(うちの学校は玉砕)

次女は「学校代表」に妙なこだわりがある。

0年生から8年生までで、250人くらいの小さな田舎の学校なので、学年代表といっても、30〜50人中のトップを狙うのは、日本のワタクシの母校1200人中、学年200人という小学校時代に比べれば、それほど難しくはなからうと心の中では思いますが、親として、いちおー誉めておきます。

「で、日本の首都は？」

「トーキョー」

「中国の首都は？」

「えつとお……」

「ロシアの首都は？」

「わかんない」

「こんなんが代表で、うちの小学校、大丈夫か？」

帰宅するなり、次女ががっかりした顔でスクールバックバックをどさりと落とす。

「クイズ大会の代表に選ばれなかった」

「点数と順位は満たしてたんでしょ。なんで」

「代表は公平に選ぶんだってさ。私は今年の陸上大会とクロスカントリー（長距離走）大会とスプリング大会とトライアスロン大会の代表やったから、他の人にもチャンスを上げなさいって、ミセス・ライト（仮名）が言ったの。メイシー（仮名）が繰上げで代表になった。私より点数低かったのに」

……そっというのは公平と言うのだろうか。

学校代表とか、そんな理由で選んでいいのだろうか。

児童生徒が多すぎるというだけでなく、昼行灯でやる気のない小学生だった私はいかなる種類の代表にも選ばれたことはないが、そんな理由で実力もないのに選ばれても、嬉しくはないと思うのだけだ。

がんばってクイズの本を読んで勉強していた次女に同情してしまっただ。

次女は「××代表」という言葉に弱くて、選抜のために親にも理解できない努力をするのだ。

夕食時に夫にも話してみる。

「馬鹿げた方針だなあ。ちっとも公平じゃない」

たいていのことを器用にこなす次女だけど「学校代表」が限界らしく、地区大会ではせいぜい決勝に残るくらいが精一杯だ。

勉強にしる、スポーツにしる、芸術にしる、地区大会を突破する

ような子供は、才能が飛びぬけているだけでなく、親の経済力とか精神的・物質的サポートとか子供の成績に対する気迫が、まずフツツの家庭とは違うので、あまりお近づきにはなりたくないものだ。

そんななかで、趣味（かなり本気ではありますが）の投稿生活に浸りきりの私は、大会ぎりぎりまで次女が学校の代表に選ばれてるなんて知らなかったりする。大会エントリー費の請求や、学校の要請する、子供たちの運送に車を出したり、遠くの街への応援で一日がつぶれるなんて嫌だ〜っていう最低な親だ。

親の知らないところで、子供が自力でもって最大限の努力で叩き出した正当な結果が認められないシステムは、公平といえるんだろうか。

先生の一時的な思いつきじゃないのか。
学校に抗議してやろうかな。モンスターペアレントと言われそうだけど。

その前に、確認。

「世界で一番高い山は？」

「エベレスト！」

「ピンポン」

「世界で一番長い川の名前は？」

「アマゾン！」

「ブー、ナイル川です」

「世界で一番大きな島は？」

「オーストラリア！」

「ブー、グリーンランドです」

「世界で一番大きな大陸は？」

「……えつとお」

「ブー、ユーラシア」

「え、どこそれ」

「ヨーロッパ（ユーロ）・アジアでユーラシア（ユーレイジアと発音）」

「古代四大文明の発祥の地は？」

「古代文明って？」

抗議は取りやめにしました。

というか、教育方針とかシステムよりも、うちの小学校のレベルって、どうなの？

転校させたくなくなりました。

一般常識選手権 選考結果 後編（後書き）

次女の名誉のために。

母は「五年生の一般常識テスト」の出題範囲を把握していないので、このような質問攻めはちよつと「不公平」かもしれませぬ。

しかも就学開始年齢が日本より一年早いこちらの五年生は、日本の四年生に該当します。

だから、古代文明を知らなくても問題はないと思うのですが。

とはいうものの、テレビのクイズ番組「あなたは10歳の子供より賢いですか」で、大人が10歳児を相手にクイズ対戦するのがあるのですが「こんな10歳児は嫌だ」というくらい博識で、早熟で、大人を論破する子供たちであふれています。

小さな子供を相手に玉砕する大人のほうが多いので面白い番組でした。

親子の時代

鈴鹿が別PNで挑戦している日ファンの審査員でもおられる、椎名誠氏の「岳物語・続 岳物語」を読みました。

息子さんの岳少年とのかかわりを、中学校入学までを区切りとして書かれた私小説なのですが、来年の長女のハイスクール入学を控えたこの時期にこの作品と出逢ったのが、なんだか不思議な縁を感じてしまいました。

正直な感想は「破天荒なお父さんと息子さんだなあ」というものですが、うちの娘たちが息子たちだったら、夫はこんな親子関係に憧れていたんではないかと思えます。

今はジェンダーフリーの時代ですから、夫は娘たちにマウンテンバイク、カヤック、狩猟を教え込んでますし、キャンプもがつつり連れて行きます。

しかし、十代の扉をくぐってしまった長女は、小さな時には夢中だったマウンテンバイクのダウンヒルにも興味をなくしてしまい、絵や読書など自分の世界にこもってしまうことが多くなりました。

まだ父親について山に登り、兎や山羊などの獲物のストーキングにつきあう十歳の次女は、いつまでお父さんとの濃密な時間を楽しむことができるのかなと思いました。

当地では十三歳から9学年（ninth year）となり、ハイスクールに入学します。日本の中学にあたる7学年（seventh year）と8学年（eighth year）はセカンダリーといって、自治体によって小学校に含まれたり、高校に含まれたりするのですが、居住している街ではセカンダリーは小学校に含まれ、9学年から高校生です。

十代を英語でティーンエイジャーといいますが、それは語尾に「teen」のつく十三歳からです。

「thirteen, fourteen, fifteen, sixteen, seventeen, eighteen, nineteen」は「adollescent: 思春期と青春期」とも言います。

長女が生れて、あつという間の十三年でした。

では語尾に「teen」のつかない十歳から十二歳はなんと呼ぶのかと言うと「twenties: トワイニーズ」らしいです。辞書には載ってないのでかなりあやしいのですが。

「ten, eleven, twelve」をどう並べたら上の単語になるのかわかりませんが、一番近い単語に「twenty」between: 見習いの「と」という単語があるので、あんがいとそれなのかもしれません。

高校はアウトドアのカリキュラムが充実していますので、親と山に登ったり、川をくだったりなんてことはなくなってしまうのかと思つと、今年の夏休みはしっかり遊んでもらおう(親が)と考えているところです。

同時通訳の難しさ 映画「赤壁」(前書き)

今回は熱く語ってしまったので、掌編におさまりきりませんでした。ちょっと長いです。

同時通訳の難しさ 映画「赤壁」

日本人のお友達から、DVD「赤壁」を譲ってもらいました。中国時代ものはジャッキー・チェンやジェット・リーなどの影響で家族ではまっています。赤壁はなかなか手に入らなかったのです。長女十三歳がさっそくプレイヤーに入れて。

「お母さん！ 英語字幕がない」

「え……」

中国語映像の日本語字幕のみ。

ううむ。

「君たち。どうせこれは大人向けだから、もう寝なさいね」

そんなことでは納得してくれません。

「お母さんが翻訳してよ」

水軍はネイヴィーでいいのか。Navyは海軍じゃないのかな。

ううん。バトルシップとかなんとかでごまかす。

水牛が盗まれました「バッファロー？ カウ（牝牛）？ それともブル（牡牛）？」

曹操はツアオ・ツアオ、劉備はリウ・ベイと読んでしまうのに、なぜか周瑜はジェネラル・シュウで、孫権はキング・ソンケンと読んでしまう。呉はゴ・カントリー、蜀もシヨク・カントリーとか言っていて、漢帝国はハン・エンパイアとか、固有名詞の発音が中国と日本の間を振り子のように揺れる母。

かなり苦しかったです。

丞相って、プライムミニスターでいいのかな。わからないから飛ばす。

えっと、孔明は軍師だけど、軍師って英語でなんというのだ。

私「ほら、戦闘プランを立ててフォーメーションを組んだり、戦法を練るオフィサーって、英語でなんていうの？」

夫「……言いたいことはわかった」 知らないのか！

映画は容赦なく話が進む。

おおお、関羽だ！ お母さんは関羽が大好きなんだよ。

金城武が孔明なのが死ぬほど嬉しいのだけど、ほんとには周瑜を演じて欲しかったんだ。

なんと孔明は中国語でもコメディだった。

次女十歳「あたしこのコメディ好き。ミンジョホ（出典：チャンゲム）のひと？」

母「いや、まったく別人。ミンさん演じたのは韓国人ね、コメディはカネシロタケシという日本人だよ」

次女「おかあさんがオーランド・ブルームの次に好きな人だよね」
母「最近のカネシロ君が一番かなあ」

私が十歳の時は俳優とキャラを切り離して考えることはできなかつただけど、いまだきな彼女は問題ないらしいです。

次女「どっちが悪者？」

母「これは歴史を題材にしているからどっちが悪者と言うことはない……」

夫「曹操だな」

まあ、話の流れではそうだけどね。

「八卦の陣」は「オクタゴン・フォーメーション」でいいのかな。なんだか変身戦隊モノのナントカレンジャー的な某子供向け番組を連想しました。

いつのまにか、長女は母の下手な翻訳に飽きて退場。

字幕の文章が分節ごとに表示されて、固まっている母をがんがん

せかす次女。

日本語と英語は語順が逆なので、最後まで読まないで翻訳できないんだよ。

で、読み終わった頃には場面が変わっていて、翻訳終わったときには話が進んでいる。

今はどこで何をしているのか。もともとの話や人物関係を知らなかつたら絶対投げてます。

次女「誰が勝つの？」

母「赤壁は曹操が負けちゃうんだけどねえ。歴史ではかれの息子が皇帝になって三国を統一したんじゃないかな（うる覚え）」

次女「あ、お母さんの好きなひげのジエネラル」

母「キャラで一番好きなのは曹操だよ」

次女「え、曹操は悪役（bad guy）なんですよ？」

母「そうだけどねえ（……かれの俺様腹黒さの旨味は子供にはわかるまい）」

母は「戦略戦術兵器事典 古代中国編」を持ち出して「赤壁の戦い」の地図を夫に見せたり、次女に魏呉蜀の三国鼎立の地図を見せたり。地名はみんな漢字か日本語で書いてあるのですが。

「赤壁はこの辺らしくて」

「長江」をチャンチャンリバーにしてしまったのでは、長江河になつてしまい、頭痛が痛いな翻訳ではないだろうかと反省。

母のいいかげんな翻訳も、そろそろ限界なのが、赤壁の決戦を前に状況と戦略が曹操と呉蜀の両側から語られていく場面。つぎつぎに相互の視点が切り替わってスライド式に説明していくんだけど、早すぎてついていけず、頭が真っ白になりました。

電圧負荷限界値に、ヒューズが飛んだわけです。

映画の展開と関係なく、記憶をたよりにまとめて、かいつまんで説明してしまいました。

そもそも正しい英語になっているかどうかも怪しい。ときどき夫に訂正されるし。

明日は赤壁パート2です。脳みそが沸騰しそうです。

ウィキで地理的なものや戦況と使われた戦略について、該当英単語や表現を確認しておきます。

とりあえず、ウィキの英語ページ「三国志：Three Kingdoms」で、当時の歴史的展開と赤壁の戦いの概要を夫に読んでもらいました。

これで粗筋にはついていけるはず。

問題は次女。

続きも見める気満々です。

彼女はアクションシーンが見ただけなのかもしれないんだけど、赤壁のレイティングって、十歳が見ても良かったっけ……。

戦争のシーンは「ナルニア国物語」や「指輪物語」とかよりも、かなり残酷な気がします……。

使っている兵器とか武器や戦術とか。

ファンタジーの勧善懲悪のチャンバラと違って、戦争としての群像を描いているので、いかに狡猾に戦うか、敵に対してどれだけ残酷になれるかみたいところありますし。

でもこれでアジアの歴史とか文化に興味をもってくれたら母は嬉しい。

教材選びを間違ってるでしょうか？

同時通訳の難しさ 映画「赤壁」（後書き）

ひとくち英単語メモ：軍師

戦略家・策士

strategist：ストラテジスト、tactician
n：タクティシャン

軍の参謀

staff officer：スタッフオフィサー、
advaiser、counselor、brainerとも。

瞬間字幕翻訳の危なさ 映画「赤壁2」（前書き）

鈴鹿の若いときの理想の男性像といたら

チエザレ・ボルジア

キャプテン・ハーロック

ノースウエスト・スミス

アダルト犬神明

栗原宏美

メルニボネのエルリック

犬塚信乃

魏の曹操

でした。

どうも野望に燃える狡猾自虐的自滅指向の美男に憧れるタイプのようです。

そんな私も今では二児の母。夫は平均的蟹座の勤勉マイホーム型。

最近は普通にオランダ・ブルームとか、金城武様とか憧れます。

瞬間字幕翻訳の危なさ 映画「赤壁2」

赤壁2、次女と夫と仲良く観ました。

最後まで予算が尽きることなく丁寧に製作された作品であると、感無量です。

四半世紀以上、鈴鹿の座右にありました「三国志」五種類くらい本棚に並んでいました。

日本を脱出してから読んでませんが、また読みたくなりました。

ひとつだけ、映画に悔やむことがあるとしたら。

周瑜ですね。いえ、俳優のトニー・レオンさまの演技は素晴らしかったです。

ただ、周瑜將軍はですね。他の英雄たちにはないキャラ属性をお持ちなのです。

かれは……歴史に残る美貌の將軍さまだった（らしい）のです。

あだ名が「美周郎」ですよ！

美貌、才知、高貴、武勇、仁義忠……若死にするわけです。

お姿の美しさにわざわざ言及された中国の英雄って、周瑜のほかは蘭陵王くらいでしょうか。

呂布も色白の美丈夫だとは言われてましたけど。

張雲も風采優れて、ということですが「美」とはつかない。

まあ、美貌と演技力と体力を備えた俳優って、なかなかいないものかもしれません。

主演の一人ですものね。演技力重視で正解です。

孫権の妹が敵陣に忍び込んで、の場面。

夫と次女が質問。

「なんで女だつてばれないの？ 声とか見た目とかどうみても女じ

やん」

瞬間翻訳作業の合間に律儀に答える母。

「徴兵年齢が低かったから、十四、五の兵士だとちょっと声の甲高い発育不良にしか見えないってのはあるだろうね」

……次女は「ムーラン」のときは何も言わなかったのに、やはり実写映画だとシビアになるのでしょうか。

一番の満足は「曹操」チャン・フォンイーさまの演技が光ってました。

動きは少ないのですが、表情とか、眼を見ていてもう、ああ、曹操ってきつとこんな感じだったんだろうなあと恍惚とさせてくれます。

あえて現代の道德観とか価値観とかを無視して語らせていただきますと。

曹操はやっぱり素晴らしいキャラだと思います。腹黒さと、情の深さ、肝の太さとか、粘り強さ。

とにかくいろいろと持ち合わせた一番、人間臭くて深い人物だと思います。

そういうところをきちんと描いてくれたので、もう感謝でいっぱいでした。

やっぱり理想と大義だけじゃあ、国土統一は果たせないと私も思う。

妾にしてください（本妻だと殺されそうなので）

それにしても、同時翻訳なんかしていると、將軍たちが叫ぶときは同じテンションで訳してます。

「突撃！」

「Chaaaaaarge!」

「撃て！」

「fire!!!!!!」

「撤退~~~~」

「Retreeeeeat!!」

叫びすぎて、のどが痛くなりました。

なんだか、英語に関するエッセイなのに本題からずれているようなので、まぬけな瞬間翻訳の失敗など。

夫「で、あの曹操の船にいた女性はなんだった？」

私「ポークユパイน์（porcupine）だよ」

夫「ハリネズミ（ヤマアラシ）？」

私「あ、コーキュバインだった」

夫「コンキュバイン（concubine：正妻以外の妾妻）のことか」

私「そう、それ」

瞬間字幕翻訳の危なさ 映画「赤壁2」（後書き）

ひとつだけ、気になることがありましたけど。

劉備も孫権も曹操も、他のキャラもみんな姓名なのに、なんで、諸葛くんだけ「亮」でなくて字の「孔明」なんでしょうか。

日本語字幕がそうなだけで、実は中国語台本では劉玄德とか、張子龍とか呼び合っているのでしょうか。

子どもの名付け東西いまむかし

子供たちの銀行口座を開設するということで、出生証明を掘り起こす。

子供たちは自分の出生証明に何が書いてあるのか大騒ぎで読み始めた。

長女「おばあちゃんたちの旧姓まで記録してある。日本のおばあちゃんの『Ushio』って、牛の『Ushi』?」

私「違うよ。潮は『Sea breeze』という意味だよ」「長女・次女「Cool!（かっこいい）」

あとで調べたら『潮』は『海水』だったけど、まっいいか。

『Sea breeze』は『潮風』

次女が「なんで私のミドルネームがないの!」と叫ぶ。

私は「ごめんなさい。お父さんが出生届に記入するはずだったけど、忘れたまま投函してしまいました。名前変更するのに125ドルもかかります。成人して家をでるときでいいよね。そのかわり、自分で選んでいいから」（うちは貧乏）

日常でほとんど使われないミドルネームだけど、公の書類には必ず記入しなくてはならない。私は公文書を提出するたびに「ミドルネームは?」と訊かれる。

「ありません」

「なんで」

「日本人だから」

「日本人にはミドルネームがないの? どうして?」

どうして、欧米の人は名前がいくつもあるんでしょうか、ってこ

つちこそ訊きたい。カソリックの人なんて三つも四つも持っておられる。消耗予備品じゃあるまいし、いつ使うんですか、と。

日本人妻のなかには、旧姓をそのままミドルネーム登録している方もおられるが、私は父方の旧姓がもともと好きでなく、夫も発音不可能だったのであっさり脱ぎ捨てた。

日本のパスポートにはセカンドネーム以下を記入する欄がないので、陽子・ソフィア・ウインザーさんは「ようこそふいあ・ウインザー」さんになってしまうそうだ。

娘たちはファーストネームが日本語名。長女のセカンドネームは夫の祖母の名をついでいる。英語名って、隔世で先祖の名前を受け継いでいくのが慣習らしいとそのとき知った。大昔の名前でも当たり前^にに今日使われている理由がここにあったのだ。

古代の伝説王『アーサー』という名前が古臭い響きを持たずに今も使われている、というのは驚きだ。今の日本で五、七世紀の和名をつける親はいない。たとえば同時代の敏達天皇の御和名が『ぬなくらのふとたましき命』^{のみこと}だけど、現代でそんな名を市役所に提出したら却下されるのは間違いない。個人的に持統天皇の『うののさらら女王』^{のみみ}という名前は素敵だと思っけど、やっぱり市役所は受理してくれないだろう。

でも、英語でイマドキな名前というのも、もちろん出回っていて「Zora:ゾラ」とか「Xennon:ゼノン」「Zac:ザック」なんて、本気ですか？　とうような名前もあり。

「Sunshine」って「アマテラス」と脳内自動変換してしまっただ女の子もいました。現代風なら「陽輝」^{はのあかり}かな。日本語だと女の子みたいになるなとひとり笑い。

ママ友に「こういうの、英語的に普通な名前？」と訊いてみましたが「普通じゃない。前衛的だわ」とのお答え。

あと「ハーマイオニとパーセフォニ」というギリシア神話からそのままとってきました、という姉妹もいた。パーセフォニはペルセフォネのこと。冥界の王ハデスに誘拐されて無理やり冥界の女王にされてしまった女神の名前を娘につけるとは。ハーマイオニは「ハリ・ポッターのハーマイオニ・グランジャー」のほうが有名かもしれない。出典元のギリシア神話ではトロイア戦争の原因となったヘレネーとスパルタ王メラネーオスの娘、ヘルミオネーの英語読み。政略の道具として翻弄される人生だった。

こちらの方の名付けの基準がよくわかりません。

「ガイジン」って

当国に来て間もない頃。

夫が家にいるときに日本人の友人が遊びに来た。

その友人と夕食の支度をしながら、日本語でたわいのない世間話に盛り上がる。

友人「……でね、その店員に助けてもらったの」

私「その店の？ 日本人の店員だった？」

友人「ううん。ガイジンの店員。日本語上手だった」

それまで黙って新聞を読んでいた夫が、つたない日本語で口を挟んだ。

「ココデハ、君たちガ『外人』ダカラ」

はい、そうです。すみません。

ところで、夫はどこまで日本語がわかるんだろうか。

「ガイジン」って（後書き）

『ガイジン』とは『外国人』ではなく、主に白人種と黒人種を指す単語であること、そして『ガイジン』の範疇にアジア人は含まれないらしい、ということが、日本人旅行者と会話しているうちに日本人の意識に根付いていることを実感しました。

首を突っ込むのは日本人

私の小説は、公募でもサイトでも、投稿するなら一度は日本人の方に読んでもらう必要があります。

長く海外にいと、語順がおかしくなるだけでなく、慣用句などの表現も英語的なものになってしまい、本人は気がつかないまま突っ走ってしまうからです。

そのひとつ。

「他人の問題に鼻を突っ込む」

読んでくださった方が「美雪さん。『首』を突っ込むの間違いでは？」

「おお。そうだった。日本語では『首』でした」

” Keep your nose out of my business”

「私の問題に鼻を突っ込むな」”「余計な詮索はやめてくれ」

私の脳内では『首』は『鼻』と入れ替わって何年も過ぎてしまっていたので、日本語で書くときに「鼻を突っ込む」が普通になってしまっていました。

そんな笑い話をブログで公開した時に、お寄せいただいた感想。

「日本人は鼻が低いから、首ごと突っ込まないと……」

私が言ったんじゃないからありませんからねえ。

オリーブ色の肌とは

英米の小説を読んでいると、しばしばお眼にかかる「オリーブ色の肌」

いったい、何色ですか？ と不思議に思います。

まず、オリーブを辞書でひくと「緑」

オリーブの実は緑色なので。でも、黒オリーブもある。では、オリーブ色の肌とは、真つ黒の黒か、というとそうでもない。

人物描写で「オリーブカロードスキン」といえば、まず白人かアジア人、中央アジア人で、黒人が含まれることはない。

白人キャラに使われるときは、程よく日焼けした健康的なキャラに使われることが多いようだ。

では「黄金色」の二番絞りくらいの「オリーブオイル」を想像する。

エキストラヴァージンオイルは淡緑色だし。一番絞りもまだ緑っぽくて、彗星帝国星人になってしまう（わかる人いる？）

小説や辞書ではそれ以上のことはわからないので、身近で調査すること。

夫に訊く。

「あれだ、黒すぎないダークスキンだ」

よくわからない。たぶん、夫もよく分かっていない。

長女に訊く。

「私の肌だよ」

と腕を突き出して見せる。ピンクがかった白人の肌とは違い、やはり黄色みがあった小麦色というか、日本人から見れば色白と言え

ないこともないけども、白人に混ざると激しく目立つ、濃い肌。

次女は長女ほどきれいに日焼けしないので、オリーブ色の肌ではないらしい。

肌の色はあまり違いがないような気がするのだけど。

日焼けしても褪めやすい次女は、白人の子供たちのように顔中にそばかすがある。

微妙にメラニン色素が姉妹でも違うんだろう。ちょっと気の毒だ。

まあ、日本にいけばいろいろ言われるかもしれないが、当国にいるかぎりはいたって普通。

というわけで「オリーブ色の肌」とは、象牙色より濃くて、小麦色の一歩手前の肌の色、と解釈している。異論があればうかがいたい。

ブロンズ色の肌とは

肌の色第二弾。

日本でもよく使われるブロンズ（bronze）色の肌ですが、みなさまはどんな色を想像されますか？

ブロンズを辞書でひくと「青銅」

ブロンズ像って、たいてい青緑色ですよ。

古墳からでてくる銅剣も銅鏡も青緑色。

青銅色が人間の肌ってことないですよ。ほんとに白色彗星帝国ガトランティス人ですよ。

では、ブロンズを『銅』の部分だけ解釈すれば、赤っぽい金褐色ともとれます。オリンピック金銀銅メダルの銅メダルは赤金色。製造したての10円玉と言ったほうがわかりやすそうです。強烈に日焼けしてかなり痛そうな肌の色ですよ。

版画やクラフトに使われる銅板や電気配線に使用される銅線みんな赤茶けたメタリック色です。でもこれらの赤銅はブロンズではなく、カッパー（copper）なのです。

ではなぜ銅メダルはカッパーメダルでなくブロンズメダルなのか。ああわからない。

そこで……。

『青銅＝ブロンズ』の本来の色が実は青緑ではない、ということが答えになるかもしれません。

鑄造して磨いたばかりの青銅はくもりのない白金なのです。金よりも淡く、真昼の太陽のように白く眩しく輝く色なのです。

古墳から出てきた銅剣も、銅鏡も、いまでこそ銅鑄に覆われて緑色ですが、実際に使われていたときは常に磨かれて白金色に輝いていたのです。銅鏡が太陽神アマテラスの神体として尊ばれていた時代、その鏡は太陽そのものを映した金銅だったのだ、と納得。

今の市場では、青銅製品はあの独特の青緑の色が一般に好まれるので、わざと錆を沈着させて販売しているのですね。絶えず磨かないといけないのも、現代人には面倒ですしね。

青銅器時代のファンタジーを書いていて、調べているうちに眼から落ちた鱗です。

で、ブロンズ色の肌ですが。

緑色の肌は、ありえないにしても。

さんざん紫外線を吸い込み赤く焼けた肌なのか。

象牙色が一歩進んだ白金色に輝く肌なのか。

メラニン色素が沈着してしまった、使い古した十円玉の赤茶けた色なのか。

ほどよく日焼けした肌の色であることに間違いはないようですが、もしかしたら、金色っぽく日焼けした、オリーブ色の肌なのかなあ。

私はこう思う、というご意見お待ちしております。

メッセージをいただきました。ブロンズ合金について。

Fさまからメッセージをいただきました。

ブロンズについて、調べてくださったそうです。

以下、メッセージをそのままコピペ

青銅≠ブロンズは「合金」。

つまり、銅を加工しやすくスズ（純粹のスズは白くてやわらかい金属）と混ぜ合わせたもの（天然にも混ぜられているものが多い）。

スズが多いと白っぽく、銅が多いと赤っぽくなる。

10円玉は赤金色だけど、混ぜているのでブロンズ硬貨。

ブロンズメダルも、純粹の銅のメダルではなくて、青銅メダルってことですね。

純粹の銅だと、美雪さんのおっしゃるとおり「カッパー」になるはず。

で、銅の合金の種類がいろいろとあり。

・黄銅（五円玉）は、銅と亜鉛の混ぜ物。別名真鍮。昔は偽の金と
言われたとか言われなにか。

・白銅（百円玉）は、銅とニッケルの混ぜ物。

・赤銅は、銅と金の混ぜ物で、処理を重ねることにより黒ずんできく。

なので「赤銅色」は、かなり日に焼けた黒っぽい肌色。

ただし「赤銅」は銅+金の合金物だけでなく、銅の別の言い方としても使われるらしい。

…っつー」とで。
ブロンズ色は、赤かろうが黄色かろうが、置いておいて。
日に焼けた「光沢のある」肌のことのようにだというのがワタシの結論でござる…。

五円玉が真鍮だったんですか！

私は100円玉が真鍮だと思ってました。なんか、色の感じからの思い込み。

百円玉も銅貨だったんですね。さすがに銀貨ではないとは思っていましたが。

銅そのものは赤金で正解なわけですかあ。

他の金属と混ぜた銅は青でも金でも赤でも「Bronze」なわけですか。

だから、銅メダルはブロンズメダルと。

じゃあ、英和事典は「bronze」を「青銅」でなく「銅の合金」とすべきではないのかなあ。

まあ「青銅」は国語辞書をひくと「銅の合金」となっているんですが。

以下、weblioより引用。

(1) 銅とスズとの合金。また、用途に応じてさらに亜鉛・鉛などを加えた銅合金を含めていう。一般に銅やその他の非鉄金属に比べ铸造性に富み、耐食性に優れている。ブロンズ。からがね唐金。

ふつーのおつむの持ち主は青銅という漢字の意味から適当に推察して、もっともよく見かける青緑色の青銅工芸品から適当に青銅は青い銅、と国語辞典をひくことをせずに勝手に思い込むものではないかと。(自分がそうだった)

学習しました。

時間のあるときに合金について詳しく調べることができたら、それでまた小説のネタがわいてきそうですね。

Fさま、ありがとうございました。

しつこくブロンズねた。『ブラス』について

『青銅：bronze』はその配合や色にかかわらず「銅」と他の金属の合金を指すわけですが、青銅に含まれる黄銅（亜鉛との合金）には一方ですばり『brass：ブラス：真鍮』という単語が日英ともにあるんですよ。

ややこしいなあと思痴を言ってしまったたり。

『ブラスバンド』のブラスって、金管楽器は真鍮でできていたのかとか。

どうも私は真鍮^{ブラス}と白銅^{ニッケル}を勘違いしていたようで、真鍮を白っぽい金属と思い込んでいました。

こうしてあまり日常ではかかわりのない物の名前や意味を確認していくのも、新鮮です。

で、昔は溶接工をしていた夫に訊ねてみました。

私：「What colour is bronze?」

夫：「Yellowish copper.（黄色っぽい銅）」

私：「What colour is brass?」

夫：「Yellowish bronze.（黄色っぽい青銅かな）」

どっちがうねん。

ほつとくと、わたしがすでに日本語ウィキで調査済みの金属配合について、滝のように英語で説明を始めそうなので話題を変えました。

私：「博物館の売店でさ、オオカマキリの青銅の置物があったんだ

けど、黄色っぽかったから、長女にこれは『brass』なのか『bronze』なのか、訊いたわけさ」

夫：「で、長女はなんて答えたんだ」

私：「『copper』だって答えたんだよ」

そこへ長女が割り込む。

長女「だって、溶接部に青錆が浮いていたから、銅じゃん」

夫：「黄色っぽい銅がブロンズなのかブラスなのかは、素人にはわからないかもなあ。どっちも酸化すると青緑色になるし」

私：「保証書には何も書いてなかったんだよ」

夫：「青錆が浮いても黄色なら、ブラスかもなあ。材料の種類や配合率にもいろいろあるから一概には言えないけど」

うちには夫の造ったカップルの薪桶がありますが、できたての時はキラキラと目映い赤金色だったけど、年月が経った今では赤黒く、底のほうには緑青が浮いています。

これはこれで趣があります。

しつこくブロンズねた。『プラス』について（後書き）

長女は技術科の時間に木工や金属加工などもあり、アルミ板や銅版、スチール加工などでペンギンみたいな梟や、魚、踊る猫を板金で造って持って帰ります。次女のほうはまだ木工ばかりのようので、万華鏡や潜望鏡を造って帰りました。イマドキの子供は男女別に家庭科・技術科に分かれてないので羨ましい。

大英帝国競技大会 開幕

うっかりしてました。

四年おきに行われる、イギリス連邦競技大会の開幕式は3日でした。

一日から一泊で遊びに行ったり、行った先で偏頭痛にやられ、帰ってから寝込んでいて、記事を開催に合わせることができませんでした。

今年の開催地はインドのデリー。

参加国は英国連邦に所属する53カ国。

イングランド、ウェールズ、オーストラリア、カナダ、スコットランド、ニュージーランドの六カ国は「コモンウェルスゲームズ（連邦競技大会）」が第一回の「ブリティッシュ・エンパイア・ゲームズ（大英帝国競技大会）1930年、開催国カナダ」と呼ばれていた当時から参加し、今ではアフリカや南アジア、オセアニアからもチームが派遣されています。

競技種目はオリンピックのスポーツだけでなく、さらに英国連邦諸国で盛んな7人制ラグビーや、ネットボール、芝ボートリングも含まれます。

実は、コモンウェルスには嫌な思い出が。

こちらに来て二年目の春。長女一歳くらいのころ。

夫が興奮して「コモンウェルスが始まる!!!」と大騒ぎ。

私は何のことがわからず common wealth っ
て……頭の中の単語帳をめくってみる。

普通の財産？ 平民の財産？ 政治的な活動なんかに興味のある人だったかしらん。

「コモンウェルスって、何？」

きょとんと聞き返した私の顔を見て、夫が呆れて馬鹿にする。

「日本人は世界のことなぐんにも知らないんだからなあ」

ムカツ！

当時はうちにネットなんかありませんでしたから。いっしょうけんめいニュースを見て、英国連邦諸国のオリンピック的スポーツ競技大会であることがようやくわかりました。

英語圏人は自分たちを中心に世界が回っていると思っ込んでいるフシがある！

井の中のカワズめえ。英語しかしゃべれなくせに偉そうにすんなあ！

しばらく腹の虫がおさまりませんでした。

コモンウェルスなんて、日本に関係ないじゃん。

日本じゃニュースにもならんし。アジア大会なら盛り上がるけど。

それから十二年が経過し、次女十歳。

「コモンウェルスになら行けるかな」

国の代表になっても出場資格が得られるとは限らないオリンピックは駄目だとわかってるあたりが現実的。国の代表にさえなれば、コモンウェルスの出場資格が取れると判断したのは偉い。

「何で行くの？ 体操？」

「陸上。大学に行けばいいのかな？」

母、陸上ならあまりお金がかからないと内心ほっとする。

「いや、マジで行きたいのなら、今から始めなさい。中学から記録を出し続けないと、選抜されないよ」

「春休みが終わったら、陸上クラブが始まるじゃん」

「週一回じゃ駄目だよ。自主トレもちゃんとしないと。今年の地方

大会を突破するくらいの実績を出さないとね」

何をやっても地方大会どまりの次女には、2010年の新しいチヤレンジとなる、のだろうか……。

大英帝国競技大会 開幕（後書き）

次女の名誉のために。

体操では地方大会で何度か優勝しているのですが。

居住地方のレベルが低いので、全国大会選抜競技会に出ても都会の強豪を相手に、底辺をうつつくことはわかりきっているため、親子ともに遠征するのが面倒くさかったりします。

わが子を一流のなんらかに育て上げたかったら、レベルの高い、競争の激しい人口密度の高いところで質の高い教育を受けさせるべきなのでしょうが。

そういうことは始めから放棄した子育てです。

本人もお山の大将を自覚していて、井の中の蛙はテレビやネットのおかげで世界が大きなこともちゃんとわかっているので、問題は無いのでは。

大英帝国の支配下にあった国を集めて1930年に始まったスポーツの祭典「コモンウェルスゲームズ」が今年はインドのデリーで開催中です。

陸上でコモンウェルスを目指すことを先週決めたらしい次女（十歳）は、陸上競技の放映時間が午前一時半であることを知り、徹夜して観戦することを決意。

午後10時辺りでは男子体操をやっていました。

赤と白のユニフォームを着て鉄棒で大車輪する選手を観ながら私のコメント。

「なんか、色の取り合わせで日本かと思っちゃった」

眠そうにしていた次女が

「え、中国？」

夫が突っ込む。

「コモンウェルスに中国も日本も参加しないから。赤白はウェールズ！」

採点が表示されて、夫が口ごもる。

「いや、赤白はイングランドだった」

次女は居間のカウチに陣取り、頑張つて十一時半までは起きていたようですが。

零時前にちよつと見てみたら。

爆睡していました。

ゆすつても起きないし。

布団をかけて、水泳競技で当国の選手が銀メダルをとつたらしいと大喜びしていたのを見てからテレビを消し、寝ました。

朝起きたら案の定、なんで起こしてくれなかったと大騒ぎの次女でした。

メッセージをいただきました。

> 旧植民地国は意外と寛容なですね！。

> 仲良くするのはいいことですが、なんとなくイングランドに丸め込まれている気がしてしまうのは、ひねくれているせいでしょうか……。

うーん、昔のことはもうどうでもいい、って感じでしょうか。

今ではどの国も独立主権国家ですし、イギリスの内政への干渉も税金の取り立てもなく、のんびりとしたものです。

政治的な拘束は何もなく、貨幣に女王陛下の肖像入りたい国、この指生まれ！的な。

それよりも英連邦に参加することで得られる「連邦市民権」とか、労働ヴィザやワーホリなどの優遇措置、相互の国を行き来したり、就業する際のゆるやかさ（もちろん国によって違いますが）のほうが国民にとってはありがたいです。

当国では国内での裁判でラチが開かないときはイギリスの最高裁まで持ち込めるといったことを耳にします。

日本語では便宜的に英連邦と呼称していますが、呼称の頭に「英：British」がついていたのは1949年まで。

以降はただ単に「Commonwealth of Nations：国家共同体」

何かあつたら相互に助け合って仲良くしましょう、という程度のおつきあいのおつです。

地図の加盟国の色分けを見ると、『米国以外の英語圏国家群』な印象を受けますが、別にアメリカに対抗しようと思って結束している

わけでもなさそうです。

以下、コモンウェルスゲームズの名称の変化

1930年 British Empire games 大英帝
国競技大会

1954年 British Empire and Commo
nwealth Games

大英帝国とイギリス連邦競技大会

1966年 British Commonwealth Gam
es イギリス連邦競技大会

1978年 Commonwealth Games 連邦競技大会

以上、ウィキを参考にまとめてみました。

フランス語圏やポルトガル語圏も、それぞれの旧植民地と本国が集
まったの国際スポーツ競技会があるそうですね。そういうのはどん
どん仲良くやればいいとおもいます。

どういたしまして

「ありがとう」に corres する日本語は「どういたしまして」なのだけど、この返礼の語源とか、本来の意味が、八文字の中からは推察できない。もともとはもつと長い文章であったのが省略されたものなのだからと想像する。

語源や意味の分析はウィクシヨナリーにお任せして、英語の「どういたしまして」は実にバラエティがある。

You are welcome .
Don't mention it .
My pleasure .
No worries .
No problems .
Not at all .

自分的には「My pleasure」が好きだ。

直訳すれば「『私の喜び・楽しみ』なので、感謝されるにはおよびません」といったところだろうか。

こちらにきてすぐ、道に迷ったときに方角を教えてくれた老婦人に礼を言ったら、朗らかに「My pleasure」と返されて、妙に感動した。

なんか、いいなあ、と思った。

人助けは、私の楽しみ。

マイ・プレジャー以外の返礼は、日本語の「どういたしまして」に似て謙遜の意味合いが強く、自分の善意を否定して、相手の問題を小さくすることでせつかくの善行をも過小なものに見せている。

ボランティアで老人や子供のサポートなど、サンキューと言われるて、マイ・プレジャーと応えようと、本当に、嬉しくなる。特に子供たちの場合は、彼らに新しい技術を習得する手助けをしているわけなので、そのために蓄えた知識や経験が活かされることに例えようのない興奮と喜びを感じるのだ。

人助けは、自分が楽しいからするのだ。相手の喜ぶ顔が見たいから、相手が自分の助力によって一歩進んでくれるのが見たいからするのだ。だから、礼を言われるのは単純に嬉しい。屈託のない感謝の言葉と、心からの笑顔が私への報酬。

あなたの幸せが、私の幸せ。

私の厚意を役立ててくれたことを表すあなたの感謝に、ありがとう。

感謝には、感謝で返す。

「My pleasure」には、そんな思いが込められているよ
うな気がして、よく使う。

私の生まれ育った地方では「どういたしまして」よりもカジユアルな「なんが、おまえさん」とさらっと流してしまう表現がある。

訳すると「何が？（何に対しての『ありがとう』ですか）、あなたさま。（わたしは何もたいしたことはしてませんよ）」になるのかな。

これはこれで、わりと好きだ。

「なんが」にかかる方言独特の抑揚をお伝えできないのが残念。

とてもほのぼのしたキモチになる。

「どうもすみません」「なんが、おまえさん」

若い人に受け継がれているといいなあ。

どういたしまして（後書き）

「どういたしまして」は意味的には「わたしは何もなにかたいしたことは
いたしておりませんよ」「になるらしいです。

度量衡はひとつじゃない

産室から産声上がる。

産医「おめでとうございます。可愛い女の子ですよ。体重は6・2
ポンドですよ」

母親「……って、何グラム？」

父親「……2800グラムくらいかな」

翌日、孫の顔を見に、じじばばが見舞いに来る。

新祖母「おめでとう、ちっちゃいけど、体重は？」

母親「2800グラムだったそうです」

義母「って、何ストーン？」

父親「6ポンドちょっとだけだ」

義父「じゃあ、えっとー、約0・45ストーンだ」

誰かこの国の度量衡を統一してくれよお。

度量衡はひとつじゃない(後書き)

1 0 0 g r a m " 0 . 2 2 0 4 6 2 2 6 2 1 8 p o
u n d

1 p o u n d " 0 . 0 7 1 4 2 8 5 7 1 4 2 9 s t
o n e

バターや砂糖、小麦粉などの小売単位はKg、g
計量器や料理のレシピはounce、poundも併記されてい
る。

定規は両側に目盛りがあつて左がフィート法、右がメートル法。
全ての計測器(機)は数種の度量衡単位の変換テーブルやスイッチ
がついている。

噂をすればXX

新年度が始まって間もなく、ママ友が子連れで遊びに来ていたときのこと。

長女がふいに思い出してREの不参加通知書を書いて、と言いに来た。

『RE=Religious Education:宗教教育』

週一時間、必ずあるらしい。

不参加の意思を保護者が文書で通知しないと、無理やり受けさせられる。

書き上げた通知書のスペルと文章を、ママ友に確認してもらった。

「美雪は仏教徒だからRE受けさせないの？」

「いや、特にそういうわけじゃないけど。REと言いながら、聖書しかやらないでしょ。それが許せないだけ。『宗教教育』って題するくらいなら、四大宗教はカバーして欲しいのよね。公立学校なんだから」

「うちは Bibel から宿題が出るからめんどろだわあ」と彼女。

ママ友の子供たちは私立カソリック校だ。だが、そのママ友はカソリック教徒ではない。私立で少数クラスのキメの細かい教育方針が魅力だとかで、非カソリック教徒枠という狭き門を通して子供たちを通わせている。

私は前から気になっていたことを訊いた。

「葡萄園で働いてたときにさ、カソリック校出身だって奥さんに会ってさ。彼女が人生で一番驚いて怖いと思ったのは『ダーウィンの進化論』だったって『あれは恐ろしい本よね』って真面目な顔をして言うのよ。ここのカソリック校も『進化論』は異端思想と教えるわけ？」

「まだそこまで学年が行ってないからわからないけど。どうせこの

街じゃ高校からは公立だからねえ」

人間が猿から進化しようが、神さまの思いつきで土くれから造られたものなのか、彼女にはどうでもいい問題らしい。

私も、別にどうでもいい。

元をただせば、みんなみんな原始の海に漂うアメーバだったんだから。

いまだにアメーバを続けている生物もいるし。

「それで、美雪は神さまも信じてないの」

「いや、私は無神論者じゃないよ。無宗教というか、むしろ、多宗教かなあ」

「何それ？」

呆れた顔をされた。

「日本には神さまがいっぱいいてねえ。好きなものを選んでいいし、複数を崇めてもいいし、困ったときだけお参りやお祓いをしても許されるし、外国から来た神さまを拝んだり、お祭りしたり祝ったりしてもオツケーなのよ」

ママ友はちよつと笑って、それからこう言った。

「サリー（仮名・共通の友人）は真面目なカソリック教徒だけど、仕事は某プロテスタント教会の事務員だしねえ。あんな感じ？」

「ちよつと違うけど。そうかな」

この国の人たちの宗教感覚は、少し日本人に似ているかもしれない。

イベントなどおおがかりな交流行事には、宗派の違う教会同士で和気藹々と助け合っている。

そんな話をしていたら、ドアをノックされた。

知らない人に、パンフレットを渡される。

の証人から、宗教の勧誘。

追いつ返すのにちよつと手間取った。

ドアを閉めて「！」と閃いた。後で見守っていたママ友にふり向いてひと言。

「Speaking of the Devil, I mean, God。」

ママ友は、苦笑いを返してくれた。

誰にも言える冗談ではないので、間違っても真面目なXXX教徒には受けない。

噂をすればXX(後書き)

慣用句「Speaking of the Devil」噂をすれば影

神さまの噂をしていたら、悪魔でなくて神さまを引き寄せってしまった、というオチ。

オリーブ色の肌 追記（前書き）

第44話「オリーブ色の肌とは」の追記です。

オリブ色の肌 追記

イギリスの児童文学『(ローマ帝国)第9部隊の鷲』を読んでいる、オリブ色の肌がずばりと描写されているのを見つけましたので、追記。

The Eagle of the Ninth by Rosemary Sutcliffeより

ブリテン原住民との戦いで負傷し、退役を余儀なくされた若き百人隊長、マーカスは、ハイドリアの壁を越え、北のカレドニア地方へ進軍したまま霧の彼方に消え去った第九部隊の消息を訪ねる旅に出る。

マーカスの父親は第九部隊の指揮官の一人だった。

野蛮人の手に落ちた「鷲」の旗頭を取り戻すために。

父親の名誉を、回復させるために。

ローマの文明を拒否し、キリスト教の教えを拒否し、大地と精霊とともに生きる刺青に覆われた人々の棲む、未開の地へ。

ローマ帝国はすでに斜陽を迎えた時代が舞台。

子供の出てこない児童文学なんて、珍しいと思って手にとりました。

ちょうど、対象年齢を下げた、古代を舞台にした冒険小説を書き始めていたので、どのていどの残酷描写が許されるものなのか、参考にと思って読み始めたんですが。

全体的に地味なクエストで、子供にはちょっと退屈なのではない

かなと思いました。

で、オリーブ色の肌ですが。

当時、カレドニアと呼ばれていたスコットランドを旅するのに「北の金髪碧眼白肌の「野蛮人」たちの土地では、生粋のローマ人マーカーカスは、髪も目も「ダーク」で「オリーブ色の肌」はとても目立つけども「白人が入植する前からいた色黒の先住民」ほど黒くはない」という記述を発見。

ゆえに、彼はローマ人であることを隠して「ギリシア人の眼医者」としてカレドニアの原住民の村々を放浪します。地中海特有の容貌はどうしようもないので、ギリシア人がカレドニア人同様、アンチローマであることを利用したのです。

『オリーブ色の肌』とはイタリア人、ギリシア人、スペイン人など、地中海の日焼けした白人の肌を指すわけなのです。

人種民族をはっきりとさせたこの描写。

長年の疑問が解決されて、すっきり。

地中海系の白人は、北方の白人よりも小柄で色が濃い、という特徴が一般に知られています。それは野菜や海産物を多食するからだ、という説にはちよつと眉唾。

だって、アジア人を例にとれば、肉食のモンゴル人が草食の日本人よりも大柄だ、という遺伝的証拠がないもの。

オリーブ色の肌 追記（後書き）

ローズマリー・サトクリフの、上の作品を第一部とする「ローマ・ブリテン4部作」のうち四部目の「Lantern Bearer s」ともしびをにかけて」はイギリスの児童文学賞である、カーネギー賞を1959年に受賞しています。

カーネギー賞受賞作で日本でも知られた作品に、ナルニア国物語・最後の戦い、ザ・ボロワーズ、黄金の羅針盤、ウォーターシップダウンのうさぎたち などがありません。また近年、同性愛について正面から描いた「ふたつの旅の終わりに」も受賞するなど時代に柔軟な賞でもあります。

雑草と言つ名の

家族でアスパラガス狩りに野歩きをしました。知らない野草が生えていたので、夫に名前を訊きました。知っている植物でも、日本にはない植物でも、ひととおり英語の名前を訊いておくのは、勉強というより会話を繋げるためでした。

夫は首を傾げて、こう答えました。

「なんだろ、雑草だよ：Just a weed」.

ピカツ！ 天啓が降り、私は厳かに宣言しました。

「Honey, there is no such plant that name is "weed"」.

雑草と言つ名の植物はない 昭和天皇のお言葉

言葉ひとつで、ひとは永遠に生きると思います。

この昭和天皇の逸話を聞いたのは、高校の授業でした。歴史の先生が、ほんの息抜き小話程度に話されました。

そろそろ昭和は終わりに近づいていましたが、太平洋戦争は私の母の世代にはまだまだ生々しい記憶で、特に教育の現場では昭和天皇については触れてはいけないという空気が定着していました。そして、わたしたち子供世代は皇室には無関心でした。

どうしてその教師がそんな話を持ち出したのか前後は思い出せませんが。いつもは退屈なその先生の授業で、そこだけはつきりと覚えていきます。

どこかの植物園を視察しておられた昭和天皇が、ふと道端に生えていた草の名を側の人に訊ねられた。

案内の人は「ただの雑草です」と申し上げたところ、天皇陛下は「雑草と言う名の植物はありません」とたしなめられた。

物心着いたころから、周囲に溶け込めない疎外感に悩まされ、いじめなどその他の理由から絶えず自殺願望を抱えてた十代の私には、そのひと言は青天の霹靂でした。まさに、頭を殴られた衝撃を受けました。

この世に、名前のないものなどありません

全てのものには名前がある。

名前には、意味があり、存在がある。

世界のすべてのものには、意味が与えられ、存在を許されている。

こつした考えは、すぐには形にはなりませんでしたが、年を重ねるごとに、嫌なことつらいことがあると絶えず「雑草と言う名の草はない」という言葉がいつも耳の奥に甦りました。

この私は路傍に揺れながら、絶えず踏みつけられ、やがては枯れる草にすぎません。

でも

私は名もない草ではない。

雑草にひとくりにされる命でも、誰かが私の名前を知っている。私に名前を授けたひとがいる。

生きることをさだめられ、光を求めて伸び行く季節を与えられている。

私はキリスト教徒ではありませんが「人は言葉によって生かされ

る」というのは、真実だと思います。それが神の言葉である必要はありませんし、言った本人が深い意味を込めてなくてもいい。その言葉を残した人について、何も知る必要すらないかもしれないかもしれません。ひとつの言葉が、受け取った人間の心に、生きる力や光をもたらす、生涯を通じて前へ進む勇気を与え続けることは、確かにあるのです。

逆に「人を死に至らしめる言葉」もあることもまた、真実なのですが。

言葉には、魔力がありますね。

この逸話を聞いた当時も、その後も、私が昭和天皇自身に興味を持つことはなく、また興味をもったとしても一介の田舎の学生にはほとんど資料のない時代でした。

崩御されたり、また随分とあとになってネットでいろいろ公開されてから裕仁という人物についていくらか知ることになったのですが……昭和天皇語録はなかなか興味深いです。

私は政治的にも宗教的にも右でも左でもありません。

何事も中庸・中道、ほどほどにマイペースがいいと思っています。

雑草と言つ名の（後書き）

一生に一度、誰かに向かつて言ってみたい言葉のひとつでしたねえ。夫の反応は今ひとつでしたけど。

もともと力いっぱい生きること、疑問など持ったことのない人間なので、特に感銘も受けなかったもよう。

「まあ、それはそうだけど。ボクは知らないから」
が、夫の返事でした。

うちの三女は「ラブハンター」（前書き）

プロ友のおひとりが、ラブラドルの子犬を家族に迎えられたそう
で。

おめでとうございます。

子犬のうちは可愛いんですが、大きくなるんですよ。
しかもたいへん力が強くて。

後ろ足で直立すると人間と同じ高さになって、「遊んでー」と前足
を肩や胸を置かれると、あっさり押し倒されて危ないです。

本犬ほんにんに悪気はないので叱るに叱れません。

「駄目！」と言われてしよげてしまうデカ犬もまた可愛いものです。

今日は、うちの三女「ルー」：夫が好きな女優、ルーシー・ルーよ
り命名「」のお話。

うちの三女は「ラブハンター」

ラブハンターと、カタカナで書くと「愛の狩人」みたいですね。
違います。

「Labrador cross Huntaway」

ハンタウェイがそもそも、それまでの牧羊犬にラブラドルレトリバーとの掛け合わせで作り出された新しい犬種なのですが。

片親がラブラドルということ、犬種を聞かれるとラブハンターと答えることにしています。

以前飼っていた小型犬に比べると、非常に賢く、忠誠心が強く、しつけやすいです。

ラブラドルも、ハンタウェイの先祖のひとつ、ジャーマンシェパードも、盲導犬や警察犬として活躍しているせいでしょうか。気質は穏やかで能力は非常に高いです。

室内犬でもあります。

うちは日本人（半分）の家庭にしては珍しく、家の中でも靴で生活しています。

まあ、借家でカーペットもぼろぼろだし。

こちらをたいていの家では、どれだけ大型犬でも室内で飼います。今までの例外では、毛長種で家の中が毛だらけになるという理由でガレージに飼われていた犬がいましたが。一番の理由は、緯度が高いので、犬も屋内で飼わないと凍え死んじゃうかもしれないからでしょうか。

犬好きの人は犬と一緒にベッドで寝てますしねえ。

夫はもしかしたら犬に添い寝したいんじゃないかという気がします。
当のワンコは油断していると長女のベッドに上がりこんで寝てま

す。
姉妹で二段ベッドなんです。

上のベッドでは次女が飼い猫と。

下のベッドでは長女が飼い犬と。

寝てます。

まずいんじゃないかなあ。二人ともアレルギーがあるのに。

犬を飼ってなかった頃は、よその家や車の犬臭さが耐えられなかったのですが。

今では何も感じない……。

ラブハンターだからというわけでもないですけど。

とっても人懐っこいんです。ラブラドルは全体的にそうらしく、番犬には向きません。

彼女にとっては、世界中の人間が自分の頭を撫でてくれて、優しい言葉をかけ、えさをくれるかもしれないお友達に見えるらしいです。

通行人が通りかかるたびに、吠えかかったりせず、尻尾をふつてすり寄っていきます。

こっちで犬猫を飼っていて楽なのは、シャンプーとかしたことないことでしょうか。

猫の爪も切ったりしません。切ったら木登りできなくなるし。

毎日朝から晩まで近所を放浪している猫なので、爪は本猫ほんにゃんが必要

な長さを維持しているようです。
犬にいたっては、散歩のときに川や湖で泳いでいるので充分きれいみたいです。

どちらも大小は外で勝手に済ませるので、トイレの手入れも必要なし。(さすがに犬のは後で回収しますけど)

賢いはずのラブハンター、何故か私の言うことは聞かない気がするんですが。

娘に言われました。

「お母さんの発音が悪いから」

『伏せ：l a y』

『落とせ：d r o p ボールや小枝の回収のとき、自分の足元に落とせと指示』

「『ドロッパ』じゃないでしょ。『d r o p』って言うてっくらん、

ママ

ムッカー。

犬でさえ「L」「R」や子音のみの発音が聞き取れるというのに。

悔しい。

うちの三女は「ラブハンター」（後書き）

うちの子供たちはそろって筋肉質（長女はこのごろはそろでもないけど）。

定期健診で訪れた獣医さんが「このお嬢さんはとっても筋肉質で健康なんですが」

「どっかいけませんか」

「もう少し太らせてもいいんじゃないでしょうか。アバラが全部浮いているのはちょっとどうかと思いますよ」

「実はよく言われるんでエサの量を増やしてるんですが、ほんにん本犬が食べないんですね。夫が狩りにつれていくから、運動量がものすごいし」

「それは太れませんねえ」

太れない悩み……悔しい！

無駄に脂肪分の高い安いエサに変えてやる。

紳士淑女のみなさま

一昔前だと、集会で参加者に挨拶するときの呼びかけは

「Ladies and Gentlemen!」

だったのだけど。私がこちらで暮らしている14年あまりではほとんど聞いたことがなかったりする。代わりに耳にするのは

「Boys and Grills!」

参加者がオトナだろうと年寄りだろうと「少年少女の皆様!」になるようだ。

子供がオトナをファーストネームで呼びかけるような時代だ。

これがイマ風なんだろう。

アメリカのテレビドラマを見ていて、さらに変化したことを学ぶ。

「Dudes and Dudesess」...dude:洒落者、伊達者

Dudeに無理やり女性形(-ess)をつけるところが英語的
というか。

夫が子供のときは近所のオトナやトモダチの両親などは「ミス
I・ミセス」付けで呼びかけなくてはならなかったらしいのだが、
今ではしよっぱなからファーストネームで呼びかけられる。ちなみ
に職場でも上司部下関係なくファーストネームで呼び合う。知り合
って何ヶ月も経つのに、知人友人の苗字を知らないことも珍しくな
い。

近所の五歳児に「ミュキ」と呼びかけられるのには慣れてきた
ものの……在住日本人の小学生に「ねえミュキ」と呼び捨てにされ

るのは何故か釈然としない。

日本人に対しては、それが子供でも日本人の礼節を求めてしまう
心理とは……どうなんだろう。

日本語と英語の隙間で彷徨う

里帰り計画を立てている。

日本着後に空港近くのホテルを予約しようと言われ、ホテルのサイトを覗いた。

「スタンダードルーム・スーペリアルーム・プレミアムルーム」とな。

『スーペリアルーム』って、どんなルームなんだ。ってか、スーペリアって、何？

ウェブリオで調べてみたけど……一致する見出し語は見つからない。

しかし、ウェブリオの頭のところ、スーペリアなものが売っているらしいサイトがある。

「粉やの息子」というウェブショップにはスーペリア強力小麦粉なるものを売っている。

「野村工務店」ではスーペリアな新築一戸建てが買えるらしい。

まあ、普通に考えてグレード付けなんだろうけど。

スーペリア……デラックスとかじゃだめなんだろうか。

意味から考えて、思いつく一番発音の近い英単語は……superior:「高次の」「優位の」「上位の」

しかし、これは日本語ではスペリオルになっているし。

英語での発音はス(サ)ペリオア……ストサの間の音に、オアと語尾が短く伸びる。ハリポタの校長、ダンブルドアみたいな。

スペリオルのフランス語読みとか。

無事に実家に帰りつけるだろうか……。

里帰りしても「お母さん日本語がわからないんじゃん」とか言われそう。

日本語が、どんどん難しくなってゆく……。

豆しばで議論ネタにされている日本人の発音

教えてもらって見つけた「豆しば」シリーズ。

英語字幕や英語アノーション（吹き出し）のある動画もあり、オフィシャルサイトも英語ページがあっっていたりつくせり。

それでも、ゆうちゆうぶを漁ってしまうのは、海外から寄せられるコメントが面白いから。

人気があるのは枝豆とジェリービーンズの豆しばで、枝豆動画のコメントは「unnyuuu , unnyu , N y u u u u u u u u u u , M u n n y u u u u u , n u n n y u e e e」といったコメリアクションで溢れている。（枝豆しばが茨からでてくるときの音が「うにゅ〜」）

喜びの表現が「Fuckin' cute!」（クソ可愛い、でいいのかな）とか Freaky adorable!（キモ可愛い、なのか）」

「この世に日本人がいてくれて良かった」的な嬉しい感想も。

日本人にはユーモアが通じないと思っている西洋人が多くてアレなんだけど、私も昔は職場でよくジョークを投下されては「誰が鈴鹿を笑わせるか」みたいなノリがあった。

英語ジョークはパンチ（オチ）はわかるものの、そのどこが面白いのかわからない。ニヤリ、まではするけども、爆笑の輪に入れない。

「そのジョークの要点はわかった」

みたいな、生ぬるく微笑む私の反応がかえって受けていたのだけだ。

ユーモアの温度差が違出し、笑いのツボ（スイッチ）が違ってくるについているのだから仕方がない。

しかし、「豆しば」は理屈抜きというか、脊髄に訴える可愛さと理不尽なトリビアのマッチングで世界を虜にしまったようだ。次々といろいろな言語の字幕つきで投稿されている。著作権的にどうかとは思いつけども、これがきっかけでグッズが世界で売れるわけだからただで宣伝してもらっていることになるのかな。

あのトリビアが本当なのかとわざわざ調べて、コメント欄で詳しく解説している人までいる。

Edamameバージョンでは、日本人のLとRの発音についての議論と解説がなされていました。

・日本人はRとLが聞き取れない・発音できないというのは本当か？

・彼らは日本語表記でLをみんなRと表記するので間違っ覚えてる。

・彼らのR/LはRでもLでもない、中間の音であること。

・しかもRとLの間を行き来して、はっきりLと発音しているのに表記がRだったりすること。

……と言ったコメントが熱く交わされていた。

この中に日本人がいたかどうかはわからないけども。

LとRを間違えて危険な単語は。

Erection:選挙

Erection:勃

役員会の再選で、Lと発音すべきところをRで発音して周りをぎよっとさせてしまったのは、何を隠そう、この鈴鹿です。

豆しばで議論ネタにされている日本人の発音（後書き）

「ジェリービーンズ」では、ジェリービーンしばのべたべた日本語訛りの英語が馬鹿受け。

「日本語訛り英語はキュートだ、たまらない」という意見も。
というわけで、ネイティブの発音にこだわったり、ジャパニーズイングリッシュを恥じたりしなくてもよいみたいです。

英語版の初代宇宙戦艦ヤマト

バトンで年齢を訊かれたので、初代ヤマトをリアルタイムで観ました（かなり小さかったので、ストーリーの全容を知ったのは映画劇場版でしたけど）とお応えしましたところ、「初代の主題歌良かったですね〜」と感想をいただき……聴きたくなりました。

で、ゆうちゆうぶ。

ふと思いついて、英語版がないかと探してみました。始めは見つからなかったのですが、紹介欄に英語説明のあるのを拾って再生しましたところ、ありました。それも初代のが。見つからなかったわけは、英語タイトルがぜんぜん違っただけでした。

「Star Blazers」って、意味ワカリマセン。「星の制服組??」スターブレイザーですが、ブレイザーはブレザー、あの制服のブレザーで。

で、冒頭のある筆書きの宇宙戦艦ヤマトのタイトルが情けないゴシックみたいな「Star Blazers」でもう。もうちょっと画面いっぱいタイトル入れて欲しい。

何が哀しいって、名前がみんな変えられていることです。まあ、輸出されたアニメはほとんどそうなんです。日本人の名前は聞き取りにくく、発音が難しく、覚えられないから。セーラーMoonもポケモンも、英語に近い発音の名前はそのまま使うようですが、ほとんど英語名に変えられています。例外はドラゴンボールくらいです。

沖田艦長はキャプテン・アバター

古代進はデレック・ワイルドスター

島大介はベンチャー
古代守はアレックス ワイルドスターだそうです。
あと、ガミラスはガメロン

あのな、宇宙戦艦ヤマトには日本人しか乗れないんだぞ！
みたいな。

子供のとき不思議だったんですよ。
地球を救うための旅なのに、なんで日本人しかないんだろう、
って。

戦艦大和とその運命について知ったのは大人になってからです（
恥）

英語コメを見ると、アメリカで放映されたのは1981年（日本は74年）。

かなり人気があったようで、毎日飛ぶようにして家に帰って観た、
学校に行く前にかじりついて観ていた、仮病つかって遅刻してでも
観ていた、というようなコメントが。

日本のアニメだということは知っていた人や、当時は知らずに観
ていた、など。

38歳から52歳くらいまでの海外アニメファンに昔と同じ熱さ
で愛されている模様。

WW2オタがいて「これは大日本帝国の戦艦がモデルになってい
るんだよ」と垂れている人がいましたね。おかげで兵器オタになっ
たような言い方みたいでした。

兄弟喧嘩しているお隣さんに申し上げたいですね。

「ぼくたちは殺し合うべきではなく、愛し合うべきだったんだ！」
って。

皆殺しにする前にね。

英語版ヤマトの主題歌をお聴きになりたい方はこちらへ

http://www.youtube.com/watch?v
=ggVAtfbEUTko&feature=related

沖田艦長の声がなんかお下品で嫌。

日本語指導の難しさ

年末年始は日本で過ごすことになり、急遽子供たちに日本語指導。彼女たちの日本語ソースはジブリアニメと、動画の「ぼのぼの」「豆しば」

シマリスの「いぢめる?」とか、豆しばの「ねえ、知ってる?」

長女が、いくら頑張っても「ねえ、してる?」になる。「しってる、だよ」と撥音を叩き込もうとするのだが、次の日には「ねえ、してる?」

なんか半島とか大陸の人と話しているみたいだ。撥音ってのは、日本語だけのものなのか、って英語にはビッグとかマックとかあるし……。

「その『ねえ、してる?』」はアウト。人によっては妙な解釈されかねない」

「何を?」

……妙な解釈を想像してしまう私が穢れているのか。

「伯父さんと伯母さんには、名前のあとに『おじさん』『おばさん』とつけること」

「なんで」（こちらでは近所の他人もファーストネームで呼び捨てだ）

「大人相手に、名前を呼び捨ては失礼だからだよ」（今もそうなのだろうか?）

誰に話しかけても大丈夫なように、文末に「です」「ます」をデフォルトにする。

アニメにはないので混乱する子供たち。

都市部とか公共設備なら英語が通じないってことはないのだろうが、子供たちの訛りはアメリカのそれとも英国のそれとも微妙に違う。特に次女の発音が曖昧で、私が聞き取れないだけなのかと思っ
ていたら、夫ですらよくわからず本気でスピーチセラピーを受けさせるとか言ってるレベル。

学力に問題はないのだから、子供にありがちな一過性のものではないかと学校の先生はおっしゃっている。

日本のお正月……太りそう。

爆笑されている日本の英語案内（前書き）

ユーモア百科事典・ユーモアエンサイクロペディアで見つけました。

爆笑されている日本の英語案内

キューシってどこの地名だろうか、九州の間違いかもしれないけど、だれぞが日本でこんな英語表示を見つけたと投稿した。

Detour sign in Kyushu, Japan :
Stop : Drive Sideways .

日本のキューシで見つけた迂回路表示：「停止、横向きに運転のこと」

サイドウェイってのは、蟹歩きというか、この表示を読んだら車が横滑りに移動するところを想像してしまうのだった。

右か左へ迂回、ってことなら「turn right/left」
が妥当だと思うのだけど、写真がないので状況がよくわからない。

しかし、爆笑しました。

ステアリングを握ったまま「どうしろっちゅーの？」と困惑する外人さんが眼に浮かぶ。

困惑されている日本の英語表示（前書き）

自前ネタが切れているので、ユーモアエンサイクロペディアで見つけた爆笑・困惑ネタをいくつか紹介します。

非英語圏を旅行した英語人が投稿する「びっくり英語文案内」シリーズらしいです。

困惑されている日本の英語表示

東京のホテルで

In a Tokyo Hotel:

Is forbidden to steal hotel to
wells please.
If you are not person to do su
ch thing is please not to read
notis.

原文そのまま。文法とかスペルの間違いは投稿者の引き写しの間違いもあるかもしれないので、言及しないが、文章を直訳するところとなる。

「ホテルのタオルを盗むのは禁じられています。
もしあなたがそのようなことをする人でなければ、どうかこの表示
をお読みにならないで下さい」

って……読んでから言われてもな。

最後の文章は「If you are not kind of
person who would do such thing,
please disregard this notice.
」
が適切と思うけど、でもそもそも全体的にしっくりこない。

どこがしっくりこないのかと訊かれても……どう訳しなおしていい
のか……。

それにしても、タオルをお持ち帰りするお客様、どこにもいるんだ。

絶賛されている、日本の英語表示（前書き）

面白英語案内表示第三弾

この案内文をダンナに読んで聞かせた反応
ピカッと満面の笑みを浮かべて

「Yes, I'd love to do that!...是非お
願います!」

絶賛されている、日本の英語表示

日本のホテルにて

In a Japanese hotel:
You are invited to take advantage of the chambermaid.

「お客様はホテルのメイドをご自由にご誘惑ください」

たぶん、ホテル側は「お客様はお部屋係メイドに遠慮なく御用を申しつけてください」のつもりだったのかもしれないけど「take advantage of」には「騙す・つけこむ・誘惑する」という意味もある。そこに「invite」という「誘う・招く」という単語を組み合わせるのもちょっとアレだし。

「be invited to」って、まあ普通にお客さんに「好きにしていからね」ってニュアンスで使うけどもこの文章では故意に別の解釈をしたくなるかもしれない。

つまり

ぱっと読んだら「うわ、日本のメイドさんを好きに襲っていいんかい！」

って解釈も成り立つわけです。

じゃあ、どう書けばいいのか、と訊かれると、メイドのご利用可能範囲がわからないのでなんとも言えない。メイドの仕事範囲を明記したほうがいいと思う。

しかし、ご安心を。

誤解を招くような英語表示は日本だけじゃない。

ユーゴスラビアから：In a Yugoslavian hotel
The flattening of underwear with the job of the chambermaid.

「喜んで（お客様の）下着を延ばす（とかたたむ？）のはお部屋係メイドの仕事です」

お洗濯とアイロンがけのサービスを喜んでいたします、ってことだらうけど……何故下着に限定？

ロシアの傑作 英文案内（前書き）

面白英文説明は、日本だけじゃない。
ロシア発。

ロシアの傑作 英文案内

In the lobby of a Moscow hotel
across from a Russian Orthodox
monastery:

ロシアの古典的修道院について案内しているモスクワのホテルのロビーで見かけた案内。

You are welcome to visit the c
emetery where famous Russian
and Soviet composers, artists,
and writers are buried daily
except Thursday.

有名なロシアの作曲家、芸術家、小説家たちが、木曜日を除いて毎日埋葬されている修道院墓地への訪問を歓迎します。

毎日、前衛的な有名人が埋葬されているわけですが、さすがロシア。

ていうか。

有名なロシアの作曲家、芸術家、小説家たちが埋葬されている修道院墓地への訪問を歓迎します。 木曜日定休

ってことだよね。

わかるけど。

ロシアだけに……本文が正しいかもしれない。

You are welcome to visit the c
emetery where famous Russian
and Soviet composers, artists,
and writers are buried.
Open daily except Thursday.

なら、なんの問題もないかと。

ロシアの恐怖政治……なのかな英文説明（前書き）

ロシアネタもつひとつ

ロシアの恐怖政治……なのかな英文説明

from the Soviet Weekly: 週間ソビエト
より

There will be a Moscow Exhibition of Arts by 15,000 Soviet Republican painters and sculptors.
These were executed over the past two years.

「15000人のソビエト共和国の画家や彫刻家によるモスクワ芸術展覧会が開催されます。

これらは過去二年間の間に処刑されてきました」

「えっ?」

executeには「1. 罪人を処刑する」のほかに「2. 命令を遂行する」とか「3. 法律や判決を施行する」という意味はあるにはあるんで、展覧会の実施とか使えなくもないけど……。
ロシアだけに(1)の可能性も捨てきれず、かといって指摘するのも怖い……。

さらに、ロードス島にも処刑ねたが。

In a Rhodes tailor shop: ロードス島の仕立て屋さんの案内

Order your summers suit .
Because is big rush we will ex-
ecute customers in strict rota-
tion .

「夏服の注文を（今から）してください。

繁忙期のため、我々は厳格なローテーション作業でお客様を処刑して参ります」

ええっ？

たぶん、こう言いたかったのだろう。

「Due to big rush , we will execute customers ' orders in strict rotation .」

「繁忙期のため、我々は厳密なローテーションでご注文をこなしていますので（早めのご注文を）」

ネタにされている日本人ジョーク（前書き）

六回に分けて紹介してきましたユーモア事典

<http://www.smilespectia.com/glossary/countries/jokes/japan/jokes/>

日本ネタだけでなく、いろいろあります。

全部は紹介しきれないので、興味のある方は是非お立ち寄りください。

一日ひとつのママネタでユーモアと英語を磨くのにお勧め。

最後に日本人とアメリカ人のスカットとすれ違つてるところをギャグにしたのを全文引用。

ネタにされている日本人ジョーク

Japanese Quality Standard: 日本の品質基準

This speaks a lot about the Japanese quality standards and also cultural misunderstandings. They're still laughing about this at IBM. Apparently the computer giant decided to have some parts manufactured in Japan as a trial project. In the specifications, they set out that they will accept three defective parts per 10,000. When the delivery came in there was a discrepancy in the number of defective parts. But the three defective parts per 10,000 have been separately included in the consignment. Hope this pleases you."

ニヤツとしていただけましたでしょうか。
下手くそな訳を添えておきます。

日本の品質標準と文化的な理解齟齬を語るエピソード

IBMで未だに笑い話になっているネタがある。
コンピュータ巨人のこの会社は部品のいくつかを、試しに日本で製造することにしたという。明細事項に、IBMは10000部品のうち、3つの不良品を受容するとした。

やがて送られて来た納品物には、一通の手紙が添えられていた。
「私たちに日本人には、北米の商業習慣を理解することは困難ですが、(ご要望どおり)10000個につき、別工程で生産した3つの不良品を積送品に含めてお送りしました。
どうかご満足いただけますように」

ジョークだから、実話じゃないとは思っけど。
どうなんでしょうね。

日本人が生真面目で緻密な仕事をするという評価は、世界のスタンダード、ということだ。

読んでくださったみなさまに、メリークリスマス！

幽霊の色って？（前書き）

年末年始は一ヶ月、日本に帰省しました。
そこでアニメにはまった長女の聞き間違い。

幽霊の色って？

日本では、日本のアニメで日本語をマスターしたのではないかと思うほど、テレビにかじりついていた子供たち。特に長女は漫画で読むほうもかなり上達しました。

帰国してから、私がダウンロードしていたアニメソングにも興味を持ち、自分の携帯に入れてとおねだり。

そのなかでも「ガンダムSEED」の「あんなに一緒だったのに」がお気に入りです。

鼻歌交じりに歌っていた彼女が、私に質問してきました。

「How ghost can be different color in Japan?」

「は？」

「歌詞のここ『ユーレイがもう違う色って』と再生する。」

夕暮れはもう、違う色

意味がわからなくても好きな歌になれるのね。

夫とつきあい始めた頃、日本のテレビ番組をビデオ録画したものを見ていたとき「クリスマスがどうしたんだ。どんな番組でも、いつも言ってるけど」と聞かれて、その場面を再生したときに「会社の提供でお送りします」とナレーションが入っていたのを思い出しました。

『おおくりします』が『OH、クリスマス』に聞こえるのか。

あと「あんなに一緒だったのに」というタイトルの意味も聞かれませんでした。

日本語だと短い文章なのに、英語にうまく翻訳できません。

「昔はいつも一緒だったのに、今はもうそうじゃない」というふうに意識しないと『あんなに』と『のに』のニュアンスが語れません。

どなたか詩的にビシッと英語表現できるボキヤをお持ちでないでしょうか。

すっきりしない『ダイエット』（前書き）

帰省して自分がおデブという自覚ができたので、ダイエットを始めました。

帰国してから4・4kg減って、あと10kg。

すつきりしない『ダイエット』

お金がかからず手軽にできるダイエットってないもんかと思って、ネットでいろいろ探してみました。

やみくもに減食してはリバウンドしていた昔と違って、今は体のメカニズムや健康関係の知識が豊富に手に入り、特に女性には避けがたいホルモン周期などもあって、長期的に少しずつ減らしていくことが強調されていますね。

鈴鹿もいきなり減らして皮がたるん、と下がっても嫌ですし、ダイエット中も後も、食事は普通に食べたいので、健康管理が主体のダイエットをうまずたゆまず進めていく方針。

クリスマスまでに理想体重になればいいや、という感じで。

ところで、ダイエット方法について検索していると、Xダイエット、とか、ダイエット、とかもう、数え切れないほどできま

す。
オリーブオイルダイエットとか、ひじきダイエット、とか、タンパク質ダイエットとかは、わかるんですよ。

でも。
水泳ダイエットとか、腹筋ダイエット、とか、カンフーダイエット、
というのはちょっと、違和感を覚えます。

『ダイエット：diet』という言葉が日本語では一般的に「痩身法」という意味になってしまっているんですね。

でも、英語の『diet』は「食生活・食事療法」という意味。フツーに食生活という意味と、病気治療のための規定食や特別食を指します。

病気になったり、太ったりして愚痴を言えば、医者や相方に「c

o z s o m e t h i n g w r o n g w i t h y o u r d
i e t . : 君の食生活に問題があるからさ」と突っ込まれます。
痩せるために自己判断で減食ダイエット中にご馳走や美味肥満菓子
のお誘いを断わる時は「I'm on diet.」と言います。
で「何で〜」「太ってないよ〜」という会話が続くのがお約束。

で、じゃあ、運動で痩せるのはなんて言うのか。

『ワークアウト：workout』みたいです。なんで「みたい」
なんて歯切れの悪い言葉なんだと突っ込まれそうですが、人によっ
てまちまちだったりするからです。

『body/muscle tone：体または筋肉の状態を調え
る』とか。

『toned figure：整った体型/get into s
hape：体型を整える』など。

ダイエットの話題にしても、こっちの人は重量の数値よりも、見た
目の形の変化のほうで盛り上がるみたいです。あと、サイズが下が
ったりするとすごく喜んだり。

基礎代謝量が下がりきり、脂の乗った中年であります鈴鹿は、これ
が背水の陣。

痩せてキレイになるってことよりも、内臓に溜まった脂肪が成人病
を起こしたり、重すぎる体重に膝や踵などの関節がイカれる前に減
量をしなくてはならない状態でございます。

というわけで、脂肪燃焼促進・糖質吸収低下効果のある食材（スー
パーで買える食品に限る）を並べて献立に入れ、一日の摂取カロリー
も必要以上（現在の年齢・身長・体重から割り出した基礎代謝＋
消費代謝量。鈴鹿の場合は2000キロカロリー）は摂らないダイ
エット＝食事療法も取り入れてますが、主体は心肺機能を高め、筋
肉量を増やすための運動で余分な脂肪を減らしていく「worko

「ute」の「ダイエット方法」になるわけかと。

ものぐさ鈴鹿が一番困っているのは、こちらの熱量表示がKcalキロカロリーではなく、KJキロジュールなこと。

いちいち計算機で変換して計算しなくてはなりません。

もう、大雑把に4で割ってしまう今日この頃です。

すっきりしない『ダイエット』（後書き）

瘦身ダイエット、というよりも、**体質改善ダイエット**の日々の記録はブログでつぶやいています。

「愛の取っ手」とは（前書き）

引き続きダイエットネタです。

辞書にない体の部品名称をいくつか。

「愛の取っ手」とは

先月の終わりに引越した家には、主寝室のクローゼットの扉が一枚、まるまる鏡という、おそろしい内装です。

引越した当時は、肥満体の一歩手前という体を着替えるたびに見る羽目になって……。

これはこれでダイエット効果あります。

あまりの醜さに無駄な食欲も減らせますし、日々、締まってきたのがわかるとやる気です。

で、ある日曜日の朝。

着替えながら「腰のくびれが視認できるぞ」とひとりで喜んでいたら、夫が突然寝室に乱入。

さっさと出てきてメシにしろ、と言いにきたらしいのですが、ちょっと一拍置いて。

「おお、小さくなってきたじゃん」

とハラ回りを見てニコニコしながら近づいてきて

「でも、Love Handleラブハンドルは少しは残しとけよ」

といきなり脇腹を冷たい手でぎゅむつと握って、すかさず逃げ出しました。

『ラブ・ハンドル：愛の取っ手・愛のハンドル』 > 脇腹の贅肉。

こういう名称をつける英語人の発想が理解できません。

そもそもワタシはくすぐりに弱いので、そこを握られたらまずいたせません（何がいたせないのか、という突っ込みは、全年齢向けのこのエッセイではお答えしかねます）

それにしても、こっちの人はコトの最中にくすぐりたいところを『わしっ』と握られて平気なのか。

そんなちよつと恥ずかしいよこの部分、な俗語ですが。

お腹がポテツとズボンのベルトの上にでてるのは『マフィン・ト
ツプ』

カップケーキのカップの上に膨らんでポテツとでているあの部分に
例えているんですね。

また、三段腹とかは『スペア・チューブまたはタイヤ』

二重顎は日本語と同じに『ダブル・チン』

ぶよぶよしたお腹の贅肉は『ジェリーベリー：Jelly Belly
Belly』

張りのない下がったタプタププルプルのお尻も『ジェリーボトム』

映画『ブリジット・ジョーンズの日記2』では、シーツの下で着替
えていたブリジットが、マーク・ダーシーに「何やってるの？」と
聞かれて「この醜いwobbly bitsウォブリー
ビッツを見られたくないから
と言いつつ、マークが「そのwobbly bits」が好きな
んだけど（意識）」と言つて喜ばせる場面がある。

「wobbly bits：ぶよぶよ、たるたる、ぶるぶるする部
分」

あと関係ありませんが、胸とか、下半身とか、性的な部分で直接名
称を言うのが憚れる部分は「naughty bitsノーティ
ビッツ：キワドイ・
ヤラシイ・いかがわしい部分」と言い換えます。

加油ニッポン

新しい中国語をひとつ覚えた。

『加油』

東北の大震災のあと、中国のブログやツイッターで『加油日本』という言葉が見られるようになった。

『頑張れニッポン』という意味だそうだ。

なんと発音するのかわからないけども。

中国の援助隊を、何故かアメリカが警戒していたり。

相変わらず反日中傷なことを書き込んでいる作業員もいるけど、そういう人たちは逆に同胞に叩かれたり、祖国の恥と罵られたり、ブラックリスト行きにすべきというようなことになっているらしい。

新唐人テレビは四川大震災の時の中国政府の対応と、今回の日本の震災の日本人の対応を比較して、中国のあり方を嘆いている。その記事によれば、中共は日本の震災についても報道管制を敷いていて、内陸のほとんどの中国人は地震について知らされていないのではないかと懸念している。

でも、地震について伝え聞いた方や、映像や報道に触れた大陸の人たちは、日本の災害に対する構えと設備と、冷静な対応と苦難のなかで譲り合い助け合う日本人を素直に賞賛（というか絶賛）して応援してくれている。

もちろん中国だけじゃなくて、台湾も、アジア諸国も、世界中からあらゆる関連サイトに励ましと応援の声が秒毎に書き込まれている。

四日経って、被災地の方の疲労とストレスは限界に達していること
だろうと思う。

関東の方も、西日本の方たちも不安と不満に戦っておられると思う。
遠く離れていて、何もできないけど、報道に触れるたびに心を痛め
て、飛んでいって助けになりたいと願っている人が、国境や民族や
歴史を超えていることを、忘れないで欲しい。

今の所、海外から送ることができるのは想いと、祈りと、義捐金だ
けですが。
どうか、届きますように。

加油日本！

あとは英語で、あまり宗教よりでない励ましの定型句らしいものを
抜き出してみました。

英語圏でない国の方も英語で書き込んでおられます。

せめて日本人に伝わり易いように気を遣ってくださいたのでしよう。

O u r t h o u g h t s a n d p r a y e r s a r e w
i t h y o u .
T h o u g h t s a n d p r a y e r s f o r t h e p
e o p l e o f J a p a n .
M y h e a r t g o e s o u t t o t h e p e o p l
e o f J a p a n . R u s s i a . M o s c o w .
T h e G r e e k s f r o m a l l o v e r t h e
o r l d a r e p r a y i n g f o r J a p a n .

この人々の祈りが、どうか風向きを変えて放射能を太平洋に流して

くれますように。
私も祈ります。

それから、余裕のある方をお願いです。

祖国を離れて日本にいる在日外国人の方々は、地震に慣れていないこと、言葉で不安や不便をうまく表現できないこと、また、すぐに帰国できない事情にある場合もあり、不安で押しつぶされそうになっているでしょう。

日本人のように黙って我慢する、という習慣のない国から来られた人もおられるでしょう。

痛みや苦しみを、とりあえず発散しないと落ち着かない国民性の方もおられるでしょう。

でも、同じ人間です。

もし身近にそういう外国人がいたら、どうか温かい言葉をかけて、ともに苦難に立ち向かう仲間に入れてあげてください。

仔犬の名前

我が家の黒ラブハンターが初出産。

11匹生まれ、9匹が生き残った。

三週間で二倍以上の大きさになる。

まりつきしたくなるほど、ころころしている。

「名前、どうしようか」と夫。

私は一匹づつ指差しながら

「ブラック、クロ、ヘイ、シュヴァルツ、ノアール……」

夫が変な顔をする。

「どうしてそうなるんだ」

長女がしたり顔で口を挟んだ。

「みんな『黒』って意味だよ、お父さん」

黒ラブラドルハンタウエイの母と、黒ラブラドルの父親から生

まれた仔犬はみんな真つ黒なので、みんな黒って名前にすれば間違

えずにすむかと思ったけども。

私は腕を組んでちよつと困った。

「スペイン語はまずいよね」

長女も首を傾げて「うん、まずいね」と同意した。夫は「なんで？」

「『ネグロ』だから、英語でニガーとかニグロとか、差別用語にな

ってるじゃん」

「だな。それからほかには？」

「うん、品切れ」

日本語なら「ぬばたま」とか「黒」「漆」「玄武」とか。

ちよつとマニアックなことを考えていたら、いつのまにか子供たちがテキトーに名前をつけてしまった。

四つ足が薄茶色のは「オータム：秋」

前足が茶色いのは「トワイライト：黄昏」

つま先が白いのには「ホワイトソックス：白い靴下」そのままじゃないか……。

ほかのは見分けがつかない……。

どれも母親のハンタウェイのしるしである、首の下に白い衿のような楔模様をつけていて、ますます見分けがつきにくい。

仔犬の名前　その後（前書き）

前回の記事で、父親の血統についてあやまちがありました。父犬はハンタウェイとベアーデッドコリーとの雑種だということです。

夫が交配させるなら黒ラブラドルと以前から言っていたので、勝手にそう思い込んでいました。

仔犬の名前 その後

離乳も進み、仔犬たちはそろそろ手放しどきが近づいてきました。でも、みんな色柄性格それぞれ個性があって、愛着がわいてしまいません。

しかし、大型犬なので、9匹全部育てるのは不可能。というか離乳段階のエサ代で破産しそうな我が家の家計です。そこで、夫は山へウサギとかヤギ狩りに。

少しずつ見分けがつくようになってきたので、名前をつけることにしました。

もらわれ先で新しい飼い主が好きな名前をつけることになるのでしようけど、やはり今現在呼び名がないと不便。

夫はハンタウエイ柄（黒地に茶色のぼかし肩、四足が茶色、首の下に白い楔型の印）の雄雌を手元に残したいと希望。

ハンタウエイ柄は三匹。雌は一匹だけ。

雌を『Thor a：ソーラノ北欧神話、雷神トールの女性形』

夫が以前飼っていた中型犬、フォックステリアの「スカイ」という名前をつけたかったみたいなんです。夫の仕事中に道路に飛び出して死んじゃったので、縁起が悪い。長女が「『空』でいいじゃん」私「だったら『Thor aノ稲妻』でもいいよね。脚が速そう」で、決定。

ハンタウエイの雄二匹は微妙に色が違うけど、パツとは見分けがつかない。

私「ヤマトとワサビにする」

夫「なんでそんな難しい名前」

「まあ、一時的なものだし。」

真っ黒な黒ラブ雌は『Ebony・エ（イ）ボニー（樹皮の黒い木の名前）』

長女のお気に入りには『牙』

彼女の愛読書のひとつに、日本語の名前の犬が出てくる小説があるらしい。

だったら『太郎』と『次郎』もいいような気がする。

英語の発音になるので『キーバ』になってしまっているよ。

前足の先が白いのは『Budger：バッジャー／アナグマ』一番のかまってちゃん。

あとの三匹の黒雄は、微妙に体の大きさと白い首の下の楔模様が違うくらいで、ほとんど見分けがつかない（汗）

名札付きの首輪もつけないと名前をつけても無駄な気がする。

そろそろ予防接種の費用が一匹につき45ドル。

雑種なので、純血種の半額程度で売れるとして、これまでのエサ代や飼育費、母犬の避妊費用を考えると、8匹売り飛ばすことができても元はとれそうにないです（涙）

この経験を創作に活かしていつか元をとるしかございません。

仔犬の名前　その後（後書き）

ラブラドルは作業犬

ハンタウェイは牧羊犬

ベアデュードコリーも牧羊犬

いずれも野外での労働犬として交配を重ねられた種類なので、従順さと知性と忠誠度の高さは群を抜いています。運動さえさせておけばしつけも難しくないので、その運動量が半端じゃありません。かまってちゃん度も高く、6ヶ月で成体になり人ひとり簡単に押し倒してしまう大型犬なので、飼い主は体力と時間を要求されます。

メス犬の息子たちですが何か

4月のはじめに、うちの黒ラブハンターがお母さんになった。一度に9匹。

離乳するなり育児放棄で、フォスター親の私は創作どころではない忙しさに翻弄されている。

育児なんか二度としなくてよいと思っていたのに、でも、ひとつだけ楽しみなことがある。

夫が「あの一言」を叫ぶのを待っているんだ。

仔犬とはいえ、大型犬。四週間目には小型室内犬の成犬よりも大きい。

歯並びは鋭く、爪はかみそりのよう。

えさを持って行けばわれ先に集まり、足に飛びつき、手には噛み付き。

9匹も群がれば、とても足を踏み出せない。

じっさい、一匹は夜のえさやりで足元が見えなかった夫の作業ブーツで踏みつけられて、一晩家の中で看護される羽目になったのもいる。

翌朝には回復したけども。

思わず踏んでしまったり、噛まれたり。

英語が母国語の夫は、いろいろと汚いののしり言葉を口走る。

こっちは人は日本的に「え？」と引いてしまうようなののしり言葉を普通の状況で、普通の人が言う。

日本人にも浸透している「Fuck, Shit, bitch, etc...」などなど。

全部並べると発禁になりそうなので自重しますが、どうもシモネタ（性器を表す隠語とか、排泄物とか、下半身とか、エロ方面な）など、下半身に集中したののしり言葉が多いような気がする。

映画「ブリジット・ジョーンズの日記」でも、うら若い女性のブリジットが「ボウシエ! : Bull shit : 牝牛の糞」と叫ぶシーンなどありますが。

その中でも、ハリウッド映画でよく耳にする「Son of a bitch : サノバビッチ」

「F*ck you!」よりも強烈な罵りで、Fワードが挑発なら、こちらは怒髪天的な意味合いがあるらしい。ある意味最終通告みたいな。日本語的にどれに当たるだろう。

朝は夫がえさをやる。

「Fワード」が聞こえる。難渋しているらしい。

お座りまでは覚えたんだけど、えさをやるうとする指にまで噛み付くのがまだ数匹いる。

「you, son of a bitch!」

とか、叫んだら笑ってあげようと思っている。

だって、現実として、雌イヌの子供たちなんだから、罵ったことにならぬわけ。

しかも、娘だったかもしれないじゃない?

「Daughter of a bitch!」

ぜんぜん罵った感じじゃないな。

しかも、複数だから「Sons of a bitch」でないとねえ。

なんでイヌの子だと最大級の侮辱になるのか、と夫に訊いたけど、そんなの知るかと返された。

まあ、日本の子供の喧嘩「お前の母さんでべそ」で、なぜか激昂し

てしまった子供時代とか、冷静に考えると意味不明だ。

お知らせ

4月からこちら、沈黙しておりました鈴鹿ですが、こんなことに髪を振り乱しリアルで嵐のような毎日を送っております

「仔犬たちがやってきた」

<http://suzukanomori.blogspot.fc2.com/blog-category-10.html>

9匹の仔犬とその母犬に振り回された4ヶ月を、思い出しながら写真満載でブログにつづっています。

他にも狩猟が趣味の夫と次女のフリークな日々。

12kgの減量に成功したダイエットレシピと日記とか。

よろしければご訪問ください。

次女の「日本のここが好き・嫌い」と、俗称について考察

次女（日本訪問当時十歳）の曰く 日本のが好き

プッチンプリン、神社仏閣、ラーメン、温泉、水族館、白い炊きたてのお米

日本人の男の子たちが可愛いくて好き。（Japanese boys are kind and cute.）

次女の、日本のここが好きじゃない

「日本人が英語で話しかけてくるときさ、アメリカ（米語）のアクセントが気になる。

こう、イラツとくるのよね（annoy me.）

って、言われてもね。

それを聞いた夫が「ぼくは、ポツシュ（イギリス英語人）の鼻にかかったアクセントがイラツとくる」

私は「ジャツファ（ニュージールランド最大の都市・オークランド市民）のアクセントがイラツとくるな。語尾に『Ay』がつくのが」

ポツシュもジャツファも、俗語で蔑称のきらいはありますが、普通に会話に使われています。

冬の初めに、日本人観光客が戻ってきたことで、新聞報道が「Japan are back」的な見出しを載せて、物議を醸し出しましたが。

ニュージールランド人は「ジャツプ」という名称をアメリカ人とは違う感覚で使っているようですね。

オーストラリア人を「オージー」と呼ぶように、若い世代は単に短縮しているだけというような。

英語でジャップは蔑称だと思っている日本人からみるとびっくりします。

でも、ポツシユやジャツファは本人に向かっては言わないほうがいいみたいですね。

特にジャツファはオークランド出身という単語を短縮したわけでも、頭文字をつなげたわけでもありません。実は「J A F A : J u s t

a n o t h e r F * k i n ' A u c k l a n d e r」という

完全に偏見と侮蔑を並べた言葉の頭文字なので。

でも正しいオークランダーは、しっかりジャファという名称をビジネスや宣伝に取り入れて活用しているみたいですが。

ニュージールランドの人口の30%以上がこの首都でもない都市に集まり、国の商業と富を独占しているのですから、地方の人間たちの羨望と嫌悪という複雑な感情がこの4文字に込められているのです。

次女の「日本のここが好き・嫌い」と、俗称について考察（後書き）

ちなみに、長女は日本の漫画やアニメが大好きで、漫画読みたさに日本語の勉強はちまちまと続けている。

母「日本で好きなものは？」

長女「なると！ 忍者」

ハリケーン・アイリーン

アメリカがハリケーン・アイリーンに襲われて洪水。大変なことになっています。

あちこちで自然災害がおきまくっているわけですが。

ニュースを見ていて、前から疑問に思っていたことを夫に聞きました。

「なんでハリケーンとか自然災害に女性の名前をつけるの？」

「順番がわかるようにさ」

「は？」

「アルファベット順に名前をつけていけば、その年何番目のハリケーンかわかるだろ？」

「日本の台風は番号がつくけど、そっちのほうがわかりやすすくない？ いちいちカテリーナとかKの頭文字のハリケーンだから11番目、って指をおらないとわからないよ」

「そうかな」

いや、問題はそこじゃなかった。

「だからなんで女性の名前なのよ？」

「え、男の名前も使う。ヒューゴーとかあった年もあった」

あまり聞かないけど。

「女性の名前を切らしたら、男性の名前になるんじゃないか」

って、一年で26個もハリケーンがくるんですか。
ヒューゴーってHだから（指を折る）、その年の35個目のハリケ
ーンだったわけなのか。

夫の言ってること、本当なのかしらん。

いやだから、なんで自然災害に人間の名前をつけるのよ。

ハリケーンの名前、紆余曲折（前書き）

kichhasamara、ハリケーンの名づけに関するサイトを教えて
いただきました。

http://www.aoml.noaa.gov/hrd/t
cfaq/B1.html

ハリケーンの名前、紆余曲折

英語サイトなので、かいつまんでまとめてみます。

初めて公に人物名を熱帯性低気圧につけたのはオーストラリア。
20世紀の始めの頃に、太平洋の熱帯低気圧サイクロンに、当時の嫌われ者政治家の名前をつけたそうです。

アメリカで人名を暴風雨に使用するのは、第二次世界大戦から。
アメリカの空軍や海軍の気象学者が、非公式に熱帯性の暴風雨サイクロンやハリケーンを、奥さんやガールフレンドの名で呼んでいたのです。

(その心理にも興味がありますけど)

最初にそれを始めた気象学者は、前カノの名前をつけたとか。
1945年から、アメリカ気象庁では公式に人名を使うようになり
1950年から1952年まで、アルファベット順にリストを作る
ようになり

(夫が言っていたのはでたらめではなかったのですね)

1953年から女性の名前に統一され

1979年には男性の名前も使用されるようになりました。

オーストラリアではまた別の紆余曲折があつて、男女の名前を併用
するようになったようです。

アジアでも暴風雨に名前をつけるようになったそうですが、人名に
こだわらずいろいろあるようです。

それにしても、k i c h aさまもおっしゃっておられたのですが、
災害を引き起こす暴風雨(サイクロン、ハリケーン、タイフーン)

には、必ずと聞いていいほど女性の名前のような気がするんですが、気のせいですかね。

台風も、日本人が知らないだけで、人名がついているのでしょね。でも、番号のほうわかりやすいんだけど、と思うのは、私が日本人だからでしょう。

日本の台風は、ずっと番号でいってほしいです。

だって、「タイフーン・ミユキ、風速30m、九州北部で洪水と地滑り」とか。

へんですよ。

”ユー”は何してたの？

確定申告と、大家の視察に備えて掃除でばたかしているのに、突如夫に拉致されて自宅から32km地点の牧場地帯にマウンテンバイクとともに放り出された。

二日前に往復二時間ではあるけども、急勾配と心臓破りそうな階段つきハイキングをして、ガッチガチになってしまったふくらはぎの筋肉痛に苦しんでいる状態でもあった。

32kmをMTBサイクリング。

のどかな田園風景に、野鳥が戯れる貯水池、岩石むき出しの丘、鹿牧場、牛牧場、羊牧場。

途中で、休憩中のサイクリストが目にとまり、たまに仕事を頼まれるモテルのオーナー奥さんであることに気がついて急停止。

前から一緒に走ろうと言っていたので、ちょうどよい塩梅でのんびりまったりおしゃべりをしながら田園風景や雪の山並みを眺めつつ並んで走り、川岸の柳青めるさまに春の訪れを堪能した。

「行きで、羊が出産しているところに出合っただね、20分ほど座り込んで生まれるまで見ていたのよ」

とオーナー夫人。街まで近づいてきた頃「このへんだったわ」と牧場のフェンスに沿ってマウンテンバイクを停めた。

生後二時間の二匹の子羊と母羊。子羊は立ち上がってはおっぱいを捜し求め、疲れて膝を折っては草を（既に！）食べ始めていた。そのすぐそばに、まだ乾いてもいない胎盤が。

その日の夕食に家族にその話をした。

次女が口を挟む。

「わっとわ ゆー どうーいんぐ ぜん」

と聞こえたので

「Riding bike.」自転車に乗ってたよ。と答える。

突然、夫も長女も大爆笑。次女はフォークを握り締め、目に涙を浮かべて笑い続ける。

「何がおかしいの？」

長女が「ひつじはバイクに乗れないでしょ、お母さん」

え？ 次女はなんて言ったのだろう。

「ひとことずつ区切って、もう一度いつてごらん」

「What was the ewe doing then?」

(ewe: ユー・雌羊) = 「そのとき、雌羊(母羊)は何をしていたの?」が

「What were you doing then?」= そのとき、あなた(お母さん)は何をしていたの?」

に聞こえたのは、私だけなのね。

夫も長女も、しばらくご飯が進まないくらい笑いこけていた。

次女の話し方は口の中でこもるし、単語のつながりが曖昧なので少しわかりにくい、と夫は以前から心配してはいたんだけど、今回は単に私の耳がついていけないだけのものもよう。

羊はSheep、雄羊はRam 雌羊はEwe、子羊はLambとそれぞれ名前がついているうえに、RamとLambはカタカナにするとどっちも「ラム」だから、日本人には難しすぎるわ。

刺青の「言葉」

スーパーの会計待ちをしていたら、前で精算中のご婦人の、右肩から腕にかけて彫られた見事な刺青に感心した。顔を見ると、五代半ばと思われる白人系の方。

その方の、財布を持った左手の手首を見て、ぶふうっ、と吹き出してしまった。

左腕の内側に、日本語で「信じる」と彫ってあったのだ。明朝体で。

その方は私に背中を向けてレジから離れ、そのまま歩み去ったので、私が吹いたのは聞こえなかったみたいとほっとする。

それにしても。

刺青はこちらではピアスと同じ感覚らしく、老若男女関係なくいろんな意匠のものが体のあちこちに彫られている。顔に彫るのも珍しくない。

漢字とか、日本語的な単語もけっこう人気がある。

しかし、

「愛」とか「誠」とか、面白いところでは「必勝」とかはわかるんだけど。

「信じる」

何を？

その言葉を選んだ理由が、すごく気になる。
気になるんですよ。
でも知らない人に話しかけるのは恥ずかしいので。

まあ……「捕鯨反対」じゃなくて良かった。

刺青の「言葉」(後書き)

「捕鯨反対」はTシャツがありますけどもね。

言葉の意味用法の変化・日英編（前書き）

三歳上の兄とおしゃべりをしました。

言葉の意味用法の変化・日英編

「日本語もかなり変わって、混乱すること多いよ」と兄に話すと

「日本に住んでても混乱するからな。若いもんの言ってる意味がぜんぜんわからなかったりするぞ。知ってるか？ 食べもんが『うまい』ってのは、いまどきは『やばい』って言うんだぞ。『これやばすぎるわー』とか言いながら食ってるのは、むちゃくちゃうまいってことだ」

「うまくて食べ過ぎてしまうから『やばい』のかなあ」

ふと、否定語やネガティブな言葉が逆説的に肯定の強調に使われている例を英語でも思い出した。

「wicked」ウィックッドみたいな発音。悪いとか、悪意があるとか、いやな、とか、ひどい、というのが本来の意味。

wicked man 悪人

wicked weather いやな天気

それが、

wicked tennis player になると『すばらしく優秀なテニスプレイヤー』になるのだった。

悪魔のように賢い、なんて褒めてるのかけなしているのかわからない比喩があるけど、

「映画、どうだった」と感想を訊いて「Wicked」と笑顔で答えられたり、

誕生日やクリスマスにすごく欲しかったプレゼントをもらったいまどきの若い人や子供が

英語で話したい（涙）（前書き）

和食レストランのバイト中のこと

英語で話したい（涙）

「外人さんが5人、鈴鹿さん注文とってきて〜」

ってことで、鈴鹿はりきって行ってきました。

しかし、鈴鹿はいつもは宴会担当なので、個別のお客様への料理説明とか、オーダーのとり方はすっかり忘れてしまっていました。

英語を話すとか以前に、和食を説明するための日本語がうまく出てこない（滝汗）

まあ、通訳がふたりも同伴していたので、鈴鹿出番なし。

がっかり。

しかも、お客さんたちはドイツ人のご一行様で、通訳とは英語で話してましたがグループ内ではドイツ語。

会話も拾えなくて、なにげに話しかけるタイミングも見つからず。

それに、通訳さんがいるときには口をださないのが一番。

町の施設について訪ねておられたんですが、通訳さんが「私は知りません」とか即答。

通訳に恥をかかせてお客さんを連れてこなくなっても困るしと思い、お客さんにしても「どうしても行って見たい」って感じではなかった。鈴鹿は黙っていました。

それにしても、英語も一ヶ月も使わないと忘れそうです。

脳細胞は日々億単位で死んでいるそうなので、せっかく習得した英語力も、使わないでいると日々死滅している気がします。

田舎だし。

会話の相手が見つからないのはまあ、仕方ないんですけど、少しでも英語に触れていようと、メニューを英訳することを思いつきました。

一ヶ月で二組も外国人のお客様が来て、そのうち一組は通訳なしの日本語まったく駄目ってことだったので。

（そういう時に限って休みだったりする。残念）

短期で雇ってくれたお礼にひとつやってみるかな。

というか、通訳しようと思っても、日本の魚介類の英語名とか、知らなかったことに気がついたからです。

「かつお」がボニータ、「いか」がスクイッドとかはともかく、はまちとか、かんぱちとか、のどぐろとか、知らないからせっかく英語を話す機会があっても、説明もできないことに焦っているのです。

英語で話したい（涙）（後書き）

深夜で字幕付きの洋画をやっていることがあるので、英語に触れられるのはそれくらい。

一昨夜は「アラビアのロレンス」を夜中の2時まで見ていました。しかし、字幕は字幕で「へえ、日本語にするときには、こつ訳すのか」などと興味がいつてしまい、ついつい読んでしまいます。

重箱の隅をつついてみたり（前書き）

実家でテレビを見ました。

重箱の隅をつついてみたり

今日はとても興味深い番組を観ました。

築200年の古い住宅を改築して、町に残る江戸時代の景観を損なわないように、しかし現代人にとって住みやすい家に変えましょう、という。

特に屋根裏に打ち付けてあった板に、200年前の大工さんが書き付けた設計図とか。

大工さんの名前は十兵衛さんで、CADのない時代に非常に正確な図面を残されていたんです。

次にその家を改装する大工さんのために残したんでしょうが、200年も経ってますよ。

炭で真っ黒になって、赤外線カメラで見ないと読めない状態でしたが。

未来への遺産って言葉にふさわしくて、十兵衛さんの職人魂ってやつに感動しました。

どんな家になるんだろう、と母とわくわくして見ていたら

「次週に続く」

がくうつ。

母にボールペンを手渡され「カレンダーに書いておいてよ。忘れないうちに」と頼まれたので、カレンダーに向かって番組名を書きながら「くうつむ」と思った。

『古住宅のリフォーム』

カタカナ日本語を見ていて、いろいろ気になることがあるんだけどな。

住宅の改築は『reform:リフォーム』じゃなくて『renovation:リノヴェイション』
なのだな。

日本語として定着してしまった和製英語を、そのまま英語圏で使おうとすると意味が通じないことがよくある。

とくに上の二つは旅行に持っていくポケット辞書には、どちらも同じような意味が載っているだけで、状況による用法までは書いてないので要注意だ。

しかし、次のはちょっと許せないなあと思う。

先日、テレビのCMを見ていて、茶を噴きそうになった。

店の名前だったのか、大特売という意味だったのか『マンモス』という言葉がでてきて、それはともかく。

背後の文字が『Mammos』

『マンモス』って、あのマンモスしかないよな、と思った。

あの、毛の長い氷河期の象さん。

あのマンモスなら『Mammoth』

受験生が混乱するからね。

外来語をテレビで放映するときは、辞書を引いて、つづりを確認し

てから使うのが大人の義務だと思っただな。

母娘の言の葉 その1 (前書き)

2ヶ月の予定で帰国した母の看病介護休暇も残り少なくなりました。

母娘の言の葉 その1

母71歳は一昨年から直腸がんの治療をしていましたが、今年の3月あたりから骨盤、肺へと転移しているとかで、今はゆるい抗がん剤で進行を遅らせ、モルヒネの痛み止めを増やしていく、という段階です。

そんな母と、彼女を看病介護している娘の会話は、訪問看護師さんや、ケアマネージャー、ヘルパーさんの曰く

「親子漫才みたいですな」

そうなのかな。

というか、この小京都と呼ばれるまったりした土地柄とはかけ離れて、隣県出身の母と、太平洋側県出身の父を持つ私は、たしかにぼんぼん言いたいことを言うほうではありませんが。

がん細胞が骨盤周辺の神経を圧迫しているために、痛みがひどく、帰国してしばらくは

「早く楽になりたい」とか「殺してくれないか」と言っていた母ですが。

自分勝手な娘は「いや、私、刑務所行きたくないから」と断っていました。

仏間兼居間兼自分の寝室の片づけをしていて、今年の初詣でいただいてきた破魔矢と玉串が埃をかぶって放置されていたのを発見。

「ご利益がないわけだよ。今から拝めば楽になるかもよ」

と、百円シヨップでミニ三方を買ってきて、テレビの横に並べて米と塩と酒をお供えしておきました。

それを見た母は、がんばって拝んでました。

「もう痛いのです。早くこの世のお役目を終わらせてください。お迎えにきてください」

……お迎えは神様でなく仏様ではなかっただろうか……？

数日後、風邪を引いてしまった私が、鼻水と咳を撒き散らしている
と。

「風邪なんかうつさんですよ。この年だと簡単に肺炎になってしまう
んだからね」

「……早く楽になりたいんじゃないのかな？ 肺炎だと早い
みたいよ」

「あ、そうだった」

「うつしてあげようか」

「いやだ。あっち行って」

まだまだ生きる気力はなくならないようです。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3435/>

子供と言の葉ごっこ

2011年12月28日01時59分発行